



マッコーリーグループ

目次

マッコーリーの概要	3
企業文化	
ビジネスアプローチ	12
地域社会における取り組み	22
世界各地の拠点	
オーストラリアとニュージーランド	25
アジア	29
欧州、中東、アフリカ	40
南北アメリカ	45
マッコーリーグループの強み	
インフラストラクチャー	50
エネルギー	58
テクノロジー	65
コモディティ	73
再生可能エネルギー	80

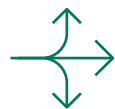
マッコーリーの概要

より良い未来を目指す革新と投資の力に



グローバル金融グループ

- オーストラリアに本社を置き、同国で上場
- オーストラリアのトップ10企業の1社¹
- 約377億米ドルの時価総額
- 34市場に1万9,200人以上の従業員
- 5,089億米ドルの資産を運用



幅広いビジネス展開

アニュイティ型業務とマーケット向け業務を融合した事業を実施し、さまざまな市況で確実なリターンを実現



長期的な視点に立った経営

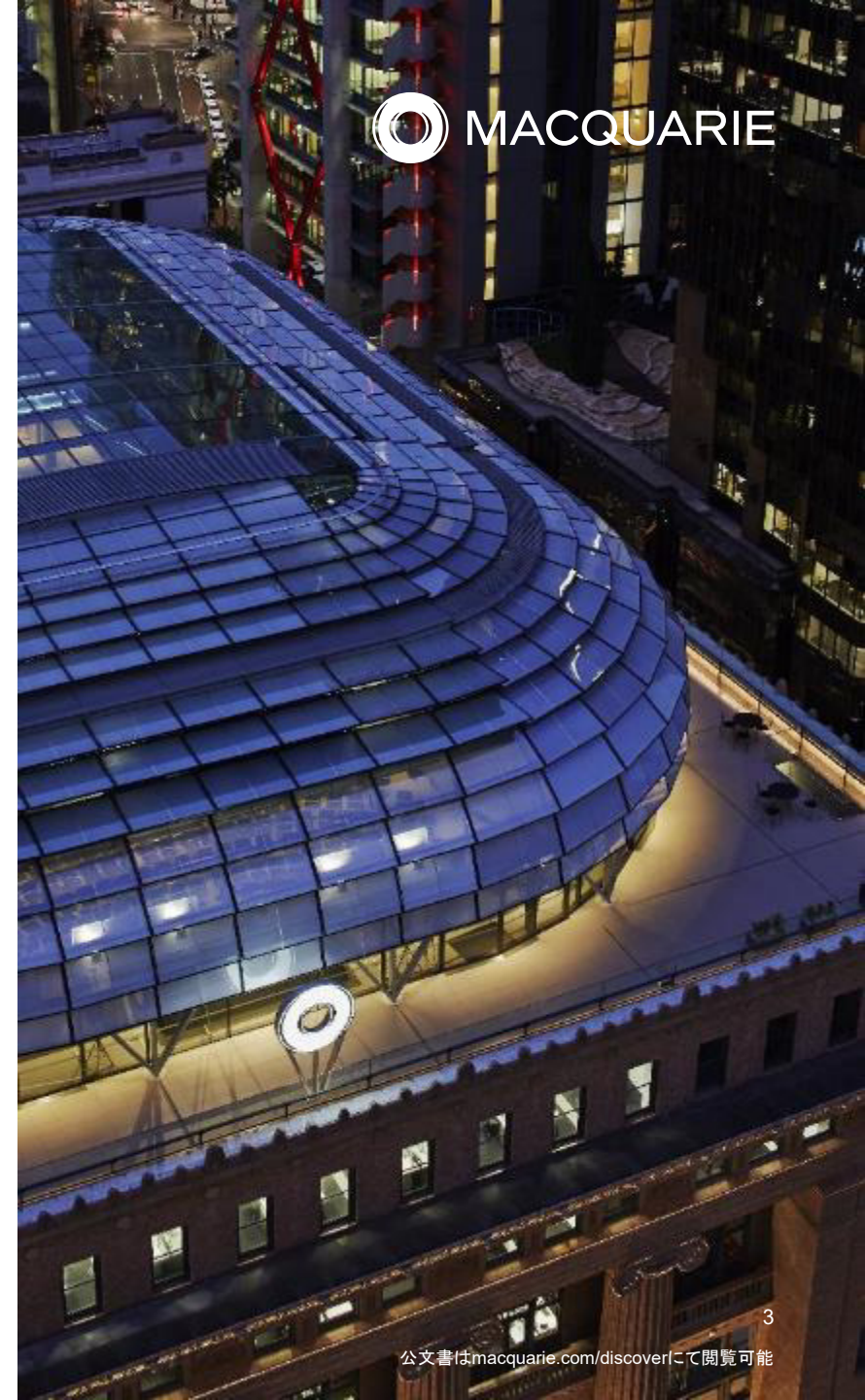
- 53年間連続黒字経営を達成
- 世界No.1のインフラ投資における資産運用会社²
- 強固な資本基盤と資金調達能力



行動と結果を重視する企業文化

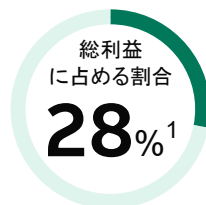
- クライアント、地域社会、従業員へ様々な機会を提供
- 行動や結果に対する説明責任
- すべての行動における誠実さ

別途記載がない限り、本スライドは、2022年9月30日現在の数値を参照。1. 時価総額ベース。出所: Bloomberg。2. IPE Real Assets (2022年7月/8月22日)、総AUMに基づいてランキング。



グローバル金融グループ

オーストラリアと
ニュージーランド



従業員
9,000人以上²

運用資産
1,511億米ドル
1万3,000人以上を雇用⁴

アジア



従業員
4,100人以上²

運用資産
260億米ドル
7万9,000人以上を雇用⁴

欧州、中東、
アフリカ



従業員数
2,700人以上²

運用資産
985億米ドル
9万3,000人以上を雇用⁴

南北アメリカ



従業員
3,200人以上²

運用資産
2,333億米ドル
5万3,000人以上を雇用⁴



19,200人以上の従業員² in
34市場³

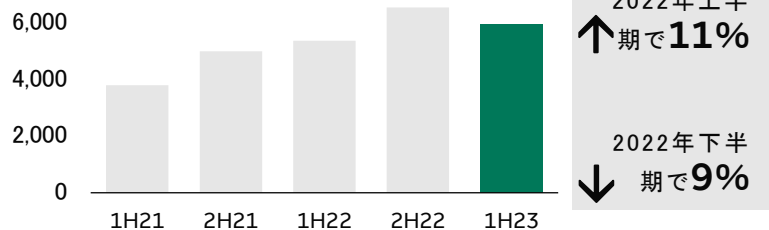
1. 2022年9月30日現在の純営業利益を表示(資本やその他の全社事項における収益を除く)。2 人数には、経営が分離された特定の子会社で雇用される従業員を含む。3. 2022年9月30日現在。4. 民間市場チームが運用するファンド資産およびマッコーリーキャピタルが大きな影響力を持つ投資先の従業員を含む。

財務業績

営業利益

単位:

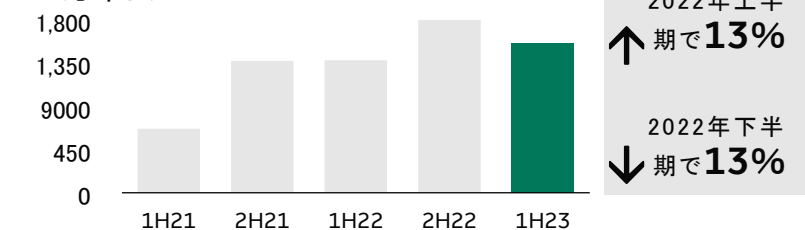
100万米ドル



利益

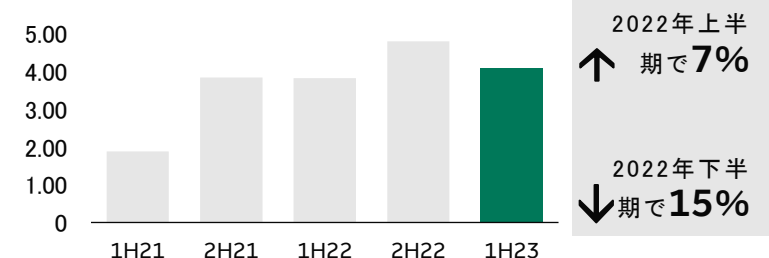
単位:

100万米ドル



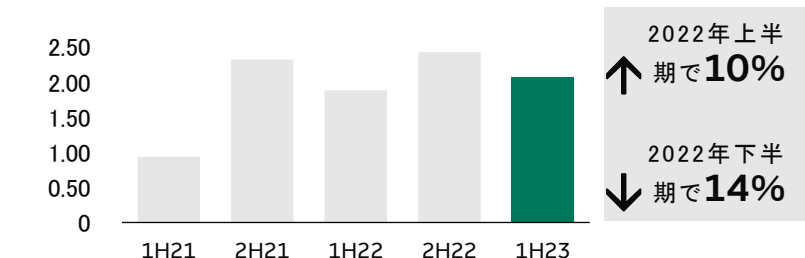
1株あたり利益

単位: 米ドル



1株あたり配当金

単位: 米ドル



幅広いビジネス展開



約50%

約50%

アニュイティ型業務 | 純利益貢献度

マーケット向け業務 | 純利益貢献度

BFS

銀行・金融サービス

- マッコーリーのリテールバンキングおよび金融サービス事業における総リテール預金残高¹⁾は746億米ドル²⁾、ローンのポートフォリオは774億米ドル²⁾、プラットフォーム資産残高は713億米ドル²⁾
- リテール顧客、アドバイザー、ブローカーおよびビジネス顧客に対し、多様な個人向けバンキング、ウェルスマネジメント、企業向けバンキング商品およびサービスを提供

MAM

Macquarie Asset Management (資産運用部門)

- 世界規模の資産運用会社:
 - 5,089億米ドル²⁾の資産を運用して、顧客と地域社会のために持続可能な価値を創造し、全ての人々にポジティブなインパクトを与えるために投資を実行
 - さまざまな分野にわたるクライアントに投資ソリューションを提供 (インフラ、グリーン投資、農業と天然資産、不動産、プライベートクレジット、アセットファイナンス、エクイティ、債券、マルチ・アセット・ソリューションなど)

CGM

Commodities and Global Markets (コモディティーズ・市場部門)

- グローバルな事業では、資本および資金調達、リスク管理、市場アクセス、現場でのエクゼキューション、およびロジスティクスに関するソリューションを、コモディティ、金融市場、アセットファイナンスを網羅する幅広い顧客基盤に提供
 - 資本および資金調達: 資本構成全般にわたり、資金調達および資産管理のソリューションを顧客に提供
 - 市場アクセス: 顧客がグローバルな流動性や電子市場を通して、資産や価格事項にアクセスすることを支援
 - 現場でのエクゼキューションおよびロジスティクス: 顧客による現物コモディティへのアクセスを支援して生産側から消費側への輸送を促進
 - リスク管理: 顧客がコモディティや通貨、クレジット、株式市場の価格変動へのエクスポージャーを管理する業務を支援

CGMの深い専門知識と実際の拠点を通して、マッコーリーの強固な社内リスク管理フレームワーク内で行う、クライアントのリスクエクスポージャーおよび取引機会の管理方法を最適化できる

MacCap

マッコーリーキャピタル

- グローバルな対応能力:
 - アドバイザーおよび資本調達サービス。資本構成にわたりパートナーやクライアントと共に投資し、多様なセクターにわたり、クライアントに専門知識やアドバイス、柔軟性のある資本ソリューションを提供
 - 運輸、デジタル、社会インフラなどを中心に、インフラおよびエネルギー関連のプロジェクトや企業の開発と投資を実施
 - 株式仲介では顧客に対して、株式調査、セールス、執行能力、コーポレートアクセスを提供

2023年度上半期の純利益貢献度

BFS | 約13%

MAM | 約31%

CGM | 約6%

CGM | 約37%

MacCap | 約13%

リスク管理グループ

マッコーリーにおける重大なリスクに関する客観的な検証や対処、監督、監視、報告に責任を有する独立した統括部門

法務およびガバナンスグループ

戦略的な法務・ガバナンスアドバイス、リスク評価など、法務およびコーポレートガバナンスに関する総合的なサービスを提供

財務管理グループ

マッコーリーの全部門に対して、財務、税務、資金管理、広報、助言などのサービスを提供

コーポレート・オペレーション・グループ

テクノロジー、オペレーション、人事、職場環境、戦略、オペレーショナルリスク管理、データや事業変革、危機対応、全社的なセキュリティなどを通じて専門家サポートサービスを提供。マッコーリーグループ基金の運営も担う

注: 本文書において純利益貢献度とは、未割り当ての一般管理費、利益分配、所得税を考慮しない管理会計利益貢献度である。本プレゼンテーション上の数値はすべて、2022年4月1日付でマッコーリーキャピタルからマッコーリアセットマネジメントに譲渡されたグリーン・インベストメント・グループを反映するよう再分類されている。1. BFS預金は住宅ローンオフセット口座を含み、法人ノホールセール預金を除く。2. 2022年9月30日現在。3. ローンのポートフォリオは、住宅ローン、事業への融資、自動車ローンおよびクレジットカードから成る。

マッコーリー・ アセット・マネジメント

複数のアセットクラスにわたり投資家の資金をアクティブ運用



インフラ



グリーン投資



農業および天然資源



不動産



プライベートクレジット



アセットファイナンス



エクイティ



債券



マルチ・アセット・ソリューション



約31%²

2023年上半期の純利益貢献は

9億8,000万米ドル¹
5,089億米ドル

の資産を運用³

1. 純利益貢献度は、未割り当ての一般管理費、利益分配、所得税を考慮しない管理会計利益貢献度である。2. 2023年度上半期の事業グループの純利益貢献度に基づく。3. 2022年9月30日現在。4. IPE Real Assets (2022年7月/8月22日)、総AUMIに基づいてランキング。5. Private Debt Investor Rankings, 2022. Strategic InsightおよびMorningstarが発表したデータに基づく。データには、米国投資信託協会 (ICI) が定める販売方法に則った投信 (仲介販売型、機関投資家向け、直販型、退職年金向けファンドなど) を含む。変額保険商品、クローズドエンド・ファンド、ETF、パッシブ型投信、マネーマーケットファンド、オプティマムファンドを除く。

世界No.1

のインフラ投資における資産運用会社⁴

世界第5位の インフラデット資金運用会社⁵



約170

のインフラおよび実物資産
を約5億人以上の人々が
日常生活で利用

銀行・金融 サービス

テクノロジーを積極的に活用したオーストラリアでのリテールバンキングとウェルスマネジメント



個人向けバンキング
住宅ローン
自動車ローン
銀行口座
クレジットカード



ウェルスマネジメント
投資
財務アドバイス
ラップ口座



企業向けバンキング
不動産サービス
専門サービス



2023年度上半期の純利益貢献は
4億500万米ドル¹
オーストラリアで
170万以上のクライアント

1. 純利益貢献度は、未割り当ての一般管理費、利益分配、所得税を考慮しない管理会計利益貢献度である。2 2023年度上半期の事業グループの純利益貢献度に基づく。3. 2022年MFAA ナショナル・エクセレンス・アワード。4. 2022年9月30日現在。5. キャンスター 2022年セービングス・アワード。

電気自動車

購入サービスに特化したオーストラリア初の金融グループ

3年連続でMFAA ナショナル・メジャー・レンダー・オブ・ザ・イヤーを受賞³

オーストラリア初

のオープンバンキング・プラットフォームを通じ、顧客は自分のデータを管理

746億米ドル

の総BFS(リテール部門)預金残高⁴

オーストラリアにおけるローンおよびリースのポートフォリオ

774億米ドル⁴

30年以上にわたり、オーストラリアの利用者に革新的かつ、競争力のある商品を提供

バンク・オブ・ザ・イヤー受賞⁵



コモディティーズ・アンド・ グローバル・マーケット

資本および資金調達、リスク管理、市場アクセス、現場でのエクゼキューション、およびロジスティクスに関するソリューションを世界規模で幅広い顧客基盤に提供



30年以上の

鉱業・金属、
先物、為替市場での経験



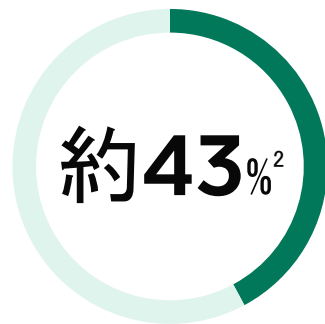
20年以上の

農業、テクノロジー、メディアおよび通信(TMT)での経験



15年以上の

エネルギー、再生可能・持続可能エネルギー市場での経験



13億9,500万米ドル

2023年度上半期の純利益貢献度¹

1. 純利益貢献度は、未割り当ての一般管理費、利益分配、所得税を考慮しない管理会計利益貢献度である。2. 2023年度上半期の事業グループの純利益貢献度に基づく。3. Platts 第2四半期 - 2022年6月。4. 2022年9月現在のASX Futures 24 (SFE) 月次レポート。5. Private Debt Investor誌が選ぶ2021年トップ10ファンド。6. 2022年9月30日現在。7. 2022年9月30日現在のSAF TMT作成データ。8. Energy Risk Awards 2022。9. Energy Risk Asia Awards 2021を受賞。

北米第5位

の現物ガス販売業者³

オーストラリア証券取引所で

第1位

の先物ブローカー⁴

世界有数のプライベートクレジットファンドの半数以上が、クレジット決済をマコーリーに委託⁵



メーター1,000万個以上を住宅と企業に提供⁶

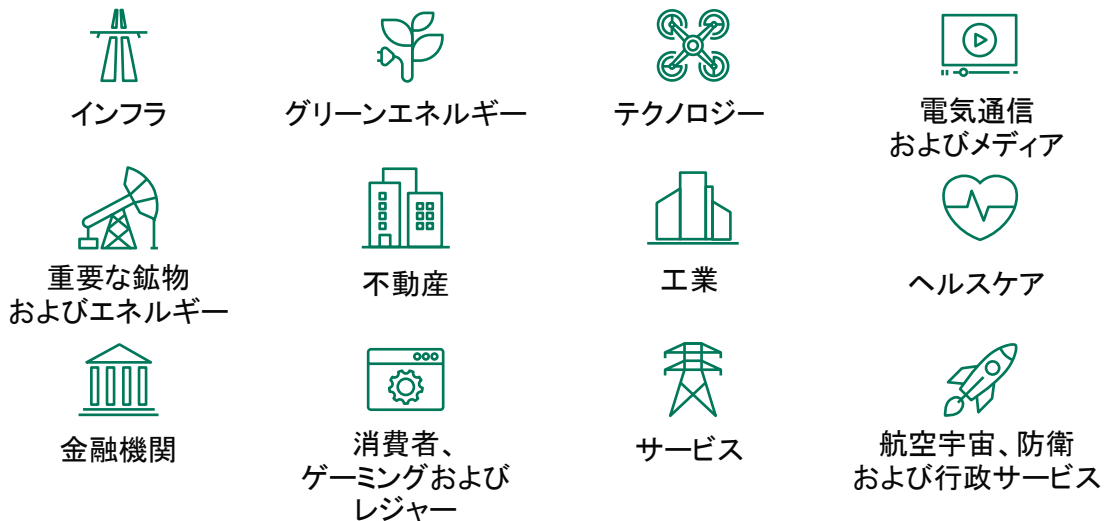
200万台以上のスマートフォンとタブレットを全世界でリース⁷

ハウス・オブ・ザ・イヤー

- デリバティブ^{8, 9}
- 石油および製品^{8, 9}
- 天然ガス・LNG⁸
- ベースメタル⁹
- コモディティリサーチ⁹

マッコーリーキャピタル

アドバイザーサービスを通し、お客様やパートナーと共に
投資機会を実現



2023年度上半期の純利益貢献は4億1,600万米ドル¹

2022年度のディール総額: 1,150億米ドル³

1. 純利益貢献度は、未割り当ての一般管理費、利益分配、所得税を考慮しない管理会計利益貢献度である。2. 2023年度上半期の事業グループの純利益貢献度に基づく。3. DealogicとIJGlobal報告によるマッコーリーグループの完了M&Aディール、投資、株式・債券資本市場取引を当該報告日レートで換算した金額に基づく。金額は取引総額であり期待額ではない。4. Inspiratia (2021暦年および2022暦年第1四半期から第3四半期、取引金額ベース) 5. IJ Global (2021暦年および2020暦年、金額ベース) 6. Dealogic (2021暦年、取引高ベース) 7. Dealogic (2012年10月1日から2022年9月30日の間に完了・公表した金額) 8. Dealogic (2012年10月1日から2022年9月30日の間にASXおよびNZXで調達した金額) 9. Inframation (2021暦年、案件数ベース7件、金額ベース1件、金額および案件数ベース3件。11カテゴリーのうち2カテゴリーで同率1位) 10. Inframation (2021暦年、案件数ベース) 11. 2022年9月30日現在。12. Coalition Greenwich US Domiciled Accounts (アジアでの取引成績、2021年)。13. 2022年9月30日現在の出資誓約ポートフォリオ。

No.1

- ・ グローバルインフラ分野のファイナンシャルアドバイザーとして⁴
- ・ グローバル社会・防衛インフラ分野のファイナンシャルアドバイザーとして(2年連続)⁵
- ・ グローバル社会・防衛プロジェクトのファイナンシャルアドバイザーとして(2年連続)⁵
- ・ ファイナンシャルアドバイザー別グローバルPFI・PPPプロジェクト取扱金額⁶
- ・ オーストラリアとニュージーランドにおける過去10年間のM&A⁷およびIPO⁸
- ・ 11カテゴリーでファイナンシャルアドバイザーとして⁹
- ・ グローバル再生可能エネルギー分野のファイナンシャルアドバイザーとして(2年連続)¹⁰



世界の1,000以上の上場企業
に対する独自の知見¹¹

アジア太平洋地域 (APAC) のハイタッチ取引
チームが米国のアジア株式取引口座
カバレッジ率でNo.1
にランク¹²

180億豪ドルを上回る自己投資ポートフォリオ¹³。その中心は150億豪ドルのクレジットポートフォリオなど。クレジット市場に特化した36億豪ドル投資とオーダーメイドの資金調達ソリューションにより2023年度上半期には過去最高額を更新。

マッコーリーグループ基金

マッコーリーグループ基金は、社会的影響を与えるマッコーリーグループの取り組みを推進しています。この基金は、従業員、ビジネス、地域社会を力強く支援し、よりよい未来を創ることを支援しています。金融リソースおよび非金融リソースを活用し、できる限り有意義な社会的影響を与えることを目指しています

創業以来、マッコーリーは事業エリアを中心として世界中の地域組織に5億米ドルを超える寄付を行っています



2,810万米ドル
の寄付を実施¹



320万豪ドルに相当する
寄付を熟練したボランティア活動を通じて実施¹



2,300の
地域組織を支援¹



3億3,260万豪ドル
1985年創業以来の寄付合計額

1. 2022年3月31日までの12カ月間。



マッコーリーグループ基金の助成パートナーであるAidhaと共催した金融教育ワークショップの様子（シンガポール）

“

マッコーリーグループ基金はマッコーリーが企業としての目的を実現する上で重要な役割を果たしています。「雇用に対する障壁を軽減する私たちの助成プログラムは、スタッフ主導の力強い慈善活動に支えられて規模と影響力が拡大しています。また、マッコーリーの事業と連携して社会的インパクトを高める機会も追求しています。」

マッコーリーグループ基金理事長 Alex Harvey

企業文化 ビジネスアプローチ



当社が事業する理由は、当社の目的で明らかにされています

より良い未来を目指す革新と 投資の力に

どのように事業を進めるかを定義した3つの経営理念に
よって実現

機会を実現する | 責任を果たす | 誠実を貫く

専門性を高め、関連分野に参入

グリーン エネルギー	インフラ	アセットファイナ ンス	コモディティ	投資 運用
投資 と開発での専門知識	インフラ 投資のパイオニア	専門的なアセットファイ ナンスの ソリューションを提供	グローバルなコモディティ のプラットフォーム	5,089億米ドルの資産を運 用
<ul style="list-style-type: none"> 陸上風力 太陽光 洋上風力 電池貯蔵 廃棄物発電 水素 Eモビリティ 	<ul style="list-style-type: none"> 公益事業 コミュニケーション エネルギー 輸送 デジタル 	<ul style="list-style-type: none"> IT 回転翼機 電力メーター 医療機器 資源 再生可能エネルギー スマートフォン 	<ul style="list-style-type: none"> 貴金属 ベースメタル 農産物 実物商品 石油、ガス、電力 二酸化炭素排出量 	<ul style="list-style-type: none"> 債券 エクイティファンド Waddell & Reed Financial, Inc.の買収
				<p>1,206億米ドルの株主資 本を運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 不動産 AMP Global Equities and Fixed Incomeの買収

進化し続ける 多様な事業



社会的な意義を常に意識



約**280億人以上**が
マッコーリーの管理する公益サービスを日々利用



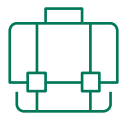
約**107GW**のグリーン
エネルギープロジェクトを開
発、建設、または運用中¹



カーボンニュートラ
ルを2010年から達成²



3億8,940万豪ドルを
1985年以降地域社会に寄付³



ファンド資産および投資を
運用して全体で約
238,000名を雇用³



**250以上のグリー
ンエネルギープロ
ジェクト**を開発中または
建設中¹



100%の再生可能電力
使用率を2022年度に全世
界で達成²

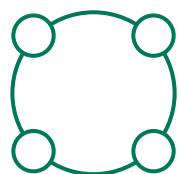


グローバル再生可能インフラ
分野の**No.1**ファイナンシャ
ルアドバイザー⁴

1. グリーンエネルギー資産のGW(ギガワット)は、各資産の100%生成能力を反映(マッコーリーが2022年9月30日時点で所有/運用する部分によるものではない)。2 2022年度における当社電力消費量の100%を再生可能エネルギーで発電した電力として調達。内訳はグリーンタリフが43%、償却済みまたは2022年6月30日までに償却予定のエネルギー属性証明書が57%。韓国市場では可用性の低さによりRE100市場境界基準の要件である再生可能エネルギー証明書を取得できなかった。その他全ての購入再生可能エネルギーは同基準に沿って調達したものであり、この時点での適合度は98.4%である。当社は2025年のコミットメントに先がけて2023年度までにRE100基準に完全適合することを目指している。3. 2022年9月30日現在。4. IJ Global (2021 暦年、金額ベース)



強固なリスク管理の枠組み内で運営



事業レベルでのリスクに対する
責任



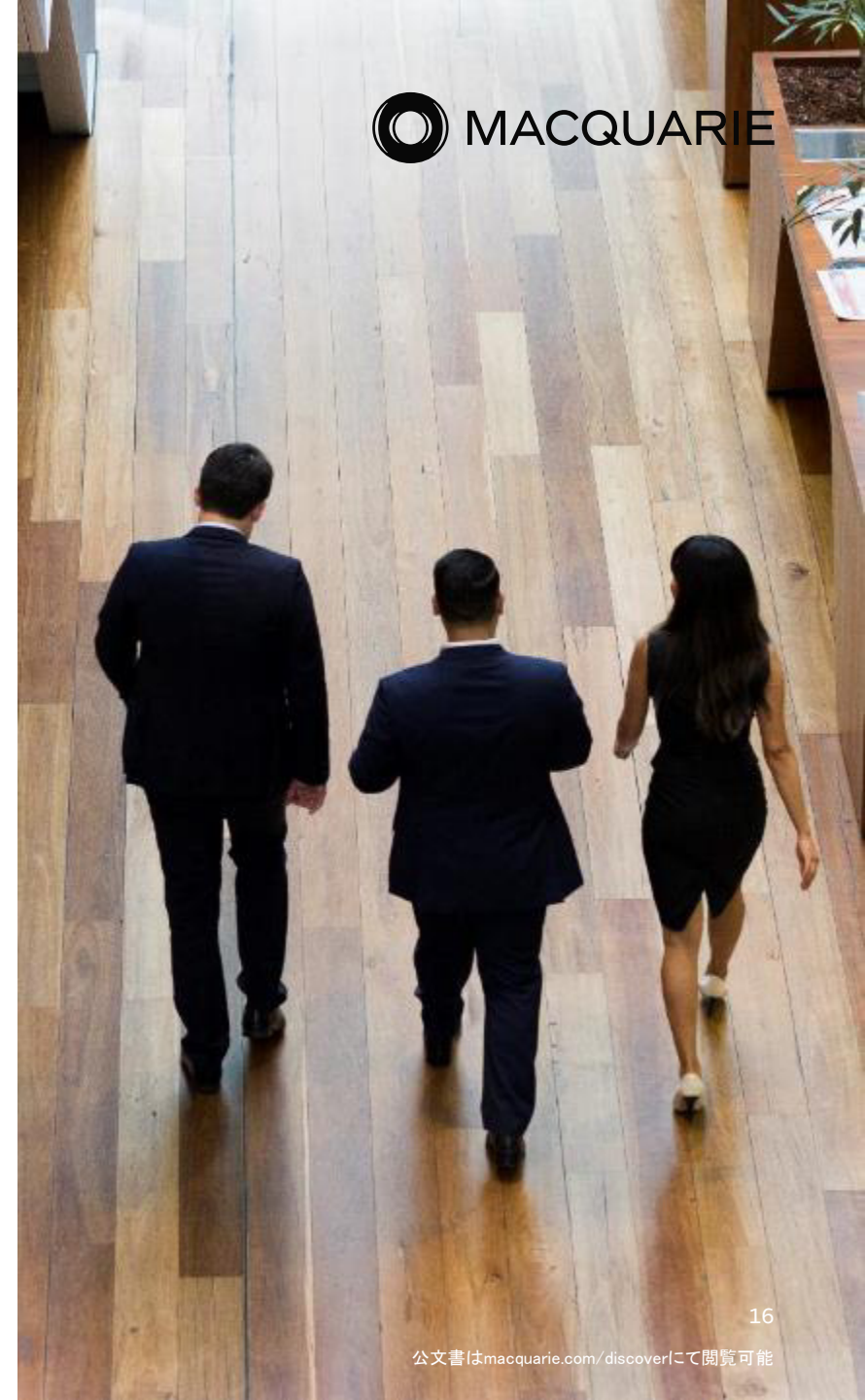
あらゆるケースの
想定



リスク管理グループによる
独立した審査・承認体制

30年以上変わらない経営理念

53年間連続の黒字経営達成の主な要因



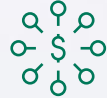
環境、社会およびガバナンス



環境・社会リスク
の管理



気候
変動



環境・社会融資



直接操業における
持続可能性



顧客
体験



従業員
および職場



行動規範
および倫理



マッコーリー
グループ基金

弊社の
環境・
社会リスク
(ESR)ポリシーに基づき
評価された**431**件の
取引件数

2050年までに
ネットゼロを達成
従来のエネルギーに
対する
投資1豪ドルごとに、再生
可能エネルギーに
6.40豪ドルを投資¹

約107GW
以上
のグリーンエネルギー資産
を開発中²

100%の再生可能
電力使用率
を2022年度に全世界で達
成

1人当たり排出量を2010
年度の基準値から

91%

削減(
2021年度からは43%の削
減³)

カーボンニュート
ラル

を2010年から達成⁴

1,650万豪ドル

以上をマイノリティが経
営する企業に投資(2022
年度)

2021 MFAA Excellence
AwardsのMajor Lender of
the Yearを受賞

2022 CANSTAR
Outstanding value award
for Savings and
Transaction Accountsを
受賞

IPE Real Assets誌のイン
フラ投資マネージャートッ
プ100ランキングで2017年
以降1位に選出

2021 Financial Standard
Investment Leadership
Awardsにおける
Investment Manager of the
Yearを受賞

2021年度のPeter Lee調査
において機関投資家が選
ぶオーストラリアのESGリ
サーチ部門で最高のレー
ティングを獲得

Australian Workplace
Equality Index
プラチナ従業員

2022年Stonewallによる英
国で最もインクルーシブな
雇用主**No.1**に選出

米国の2022年度企業平
等指数で**100%**の
スコアを獲得

目的に合わせた研修、
ワークショップおよび指導
者によるセッションを
8,000人の従業
員⁵に提供

1985年の創業以来
**3億3,260万米ド
ル以上**
を
マッコーリーの従業員お
よび基金から寄付
(2022年度は2,810万米ド
ル)⁶

詳細はmacquarie.com/ESGをご覧ください。

1. (i) 純資産を通じて公正価値で測定されるバンキング勘定のエクイティ投資、(ii) マッコーリーが大きな影響力を持つ、または共同管理している投資(関連会社や合併事業への投資)および(iii) 連結対象子会社を通じて所有する投資を含む。オフバランスシートの投資契約を除く。2. グリーンエネルギー資産のGW(ギガワット)は、各資産の100%生成能力を反映(マッコーリーが2022年9月30日時点で所有/運用する部分によるものではない)。3. 2022年度の1人当たり排出量は、稼働可能な市場ベースの排出量である二酸化炭素排出量14,238トン(スコープ1と2の排出量およびスコープ3の出張が対象)を合計人数17,556名(2022年3月31日現在における経営が分離された子会社が雇用するスタッフを除く全世界の合計従業員数)で除して算出したものである。4. スコープ1およびスコープ2の排出量と出張を対象範囲とする。5. 目的に合わせた内容では、ハイブリッド型職場環境における職務遂行や監督、誠実さ、率直な会話、心理的安全性に焦点を当てている。マッコーリーは、必須の行動規範に関するオンライン研修を受けることも世界各国の全従業員に義務付けている。6. 従業員の寄付およびファンデレーシングに対するマッコーリーグループ基金のマッチング支援、マッコーリー動続10周年および25周年を達成した従業員を祝う基金による寄付、マッコーリー従業員による12カ月間のボードサービスを表彰する非営利団体への基金からの助成金、コミュニティ組織へのマッコーリーおよび基金からの助成金を含む。

弊社では5つの主な分野で気候変動に対する活動を支援

弊社のフォルモサ2 洋上ウインドファームプロジェクトは建設中で、商用操業に向けて順調に進んでいる

1

グリーンエネルギーの開発と投資

2

顧客、クライアント、弊社ポートフォリオ企業のエネルギー移行を実現

3

適用とレジリエンスに投資

4

ネットゼロ目標に沿った業務活動

5

進捗を加速させるために連携を取り組み



詳細は、macquarie.com/climateをご覧ください

情報は2022年9月30日時点のものです。

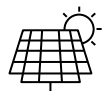
弊社は気候変動ソリューション能力を拡大

マッコーリーは様々な運営グループを通して広範囲に及ぶ専門知識と経験を培い、エネルギー移行ソリューションを拡充し、クライアントが脱炭素化する過程をサポートしています。

供給



風力発電



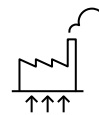
太陽光発電



廃棄物発電



水力発電

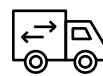


地熱発電

需要



電池自動車 / 燃料電池型自動車



フリートソリューション



充電インフラ



需要側管理



再生可能PPA

システム転換



炭素回収・貯留



エネルギー貯留



ガス輸送・貯留



電気輸送



フレキシブル・バックアップ電力

コモディティ



水素燃料およびデリバティブ燃料



排出権取引およびオフセット



電力



バイオ燃料 / ガス



移行ミネラル

専門家の セクター別専門知識



電力



石油およびガス



輸送



業界



農業



廃棄物

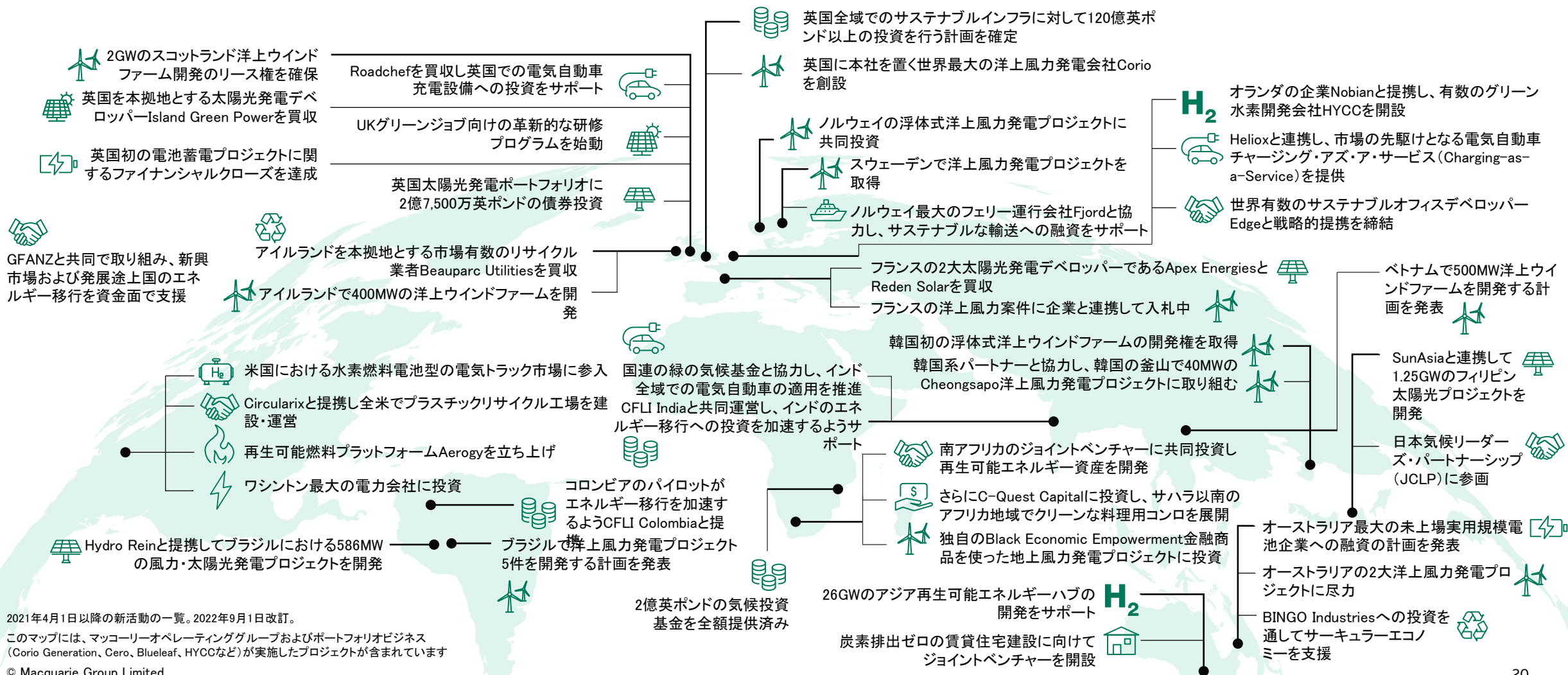


採掘

弊社は世界中で気候変動ソリューションを支援



最近の主な動き



2021年4月1日以降の新活動の一覧。2022年9月1日改訂。
このマップには、マコーリーオペレーティンググループおよびポートフォリオビジネス (Corio Generation、Cero、Blueleaf、HYCCなど) が実施したプロジェクトが含まれています

ダイバーシティ、公平性およびインクルージョンに対する長期的なコミットメント

マッコーリーは、従業員各々の多様性が企業としての力の源泉となっていることを認識しています。各々の多様性を受け入れる公平な職場環境を通じて、当社の従業員、顧客、株主、地域社会に対し、より革新的で持続可能なソリューションを届けることができます

当社は3つの分野での行動に重点を置き、会社としての発展とより良い事業に向けて取り組んでいます。

人材の多様性

すべての活動で幅広いものの見方、発想、洞察を活用する労働力を構築

公平性へのコミットメント

障壁を取り除き、違いを尊重して受け入れることで公平な成果を達成し、誰もが迎え入れられ潜在能力を全面的に発揮できるようにする

多様性の受け入れ

従業員の独自性を尊重し、貢献度によって評価し、従業員がありのままであることを讃え合うような環境を構築する

“

マッコーリーでは、誰もが自分の個性を価値あるものと感じ、異なる見方や考えが受け入れられる職場環境の構築を目指しています。”

Shemara Wikramanayake
最高経営責任者

170以上

様々な文化的アイデンティティが地球上に存在

96%

2022年度の全社で育児休暇を経た職場復帰の割合

63%

マッコーリーの取締役会に女性が占める割合

企業文化 地域社会における取り組み



マッコーリーグループ基金

より良い未来を築くよう人々を力づける

マッコーリーグループ基金は、社会的影響を与えるマッコーリーグループの取り組みを推進しています。弊社は従業員、ビジネス、コミュニティがより良い未来を築くようサポートし、従業員をすべての活動の中心に据えて取り組んでいます。金融リソースおよび非金融リソースを活用し、できる限り有意義な社会的影響を与えることを目指しています

世界中の多くの人々が雇用に対する体系的障壁に直面していることを認識した上で、弊社の資金提供の大部分は、そのような障壁を排除し、経済的安定に繋がる効果的な経路を構築することに焦点を当てています

弊社の3つの柱:



従業員主導の奉仕



助成金と社会的影響力のある投資



共通の価値観

地域社会の拡大

マッコーリーグループ基金はマッコーリーグループ・コレクションやマッコーリースポーツを運営しています



詳しくはmacquarie.comをご覧ください



マッコーリーグループ基金

従業員主導の奉仕

従業員主導型のアプローチを採用して、私たちが暮らし、働く地域社会の中から支援先を従業員自らが選び、熱心に奉仕活動や金融支援に取り組み、リーダーシップを発揮します。言い換えれば、各人の時間、専門性、人脈を駆使して、さらなる社会的影響を実現します



4,400万
豪ドル

の寄付を実施¹



2,300の

地域組織を支援²



500万

豪ドルに相当する
寄付を熟練したボランティア
活動を通じて実施²

例年のファンデーションウィーク期間中、**175**の非営利団体に対して

270万豪ドル以上を寄付¹

1. 2022年3月31日までの12ヶ月間でマッコーリー従業員と併せて。2. 2022年3月31日までの12カ月間。

© Macquarie Group Limited



スタッフボランティアがニューヨークのセントラルパークを清掃



スタッフボランティアが香港のカインドネスウォークに参加

世界各地の拠点 オーストラリアと ニュージーランド



オーストラリアとニュージーランド のマッコーリー



12

拠点

2

市場

従業員数

9,000人以上¹

オーストラリア

アデレード
ブリスベン
キャンベラ
ゴールドコースト
マンリー

メルボルン
ニューカッスル
パース
シドニー

ニュージーランド

オークランド
クライストチャーチ

ウェリントン

*円グラフは2022年9月30日現在の純営業利益に基づく(資本やその他の全社事項における収益を除く)。

1. 2022年9月30日現在。

© Macquarie Group Limited



約377億米ドルの
時価総額¹ –
オーストラリア最大級の
上場企業

オーストラリア市場を
リードするポジション

1969年創業

“

オーストラリアとニュージーランドで半世紀にわたって築き上げた強固なビジネスが基盤となり、企業文化のグローバルな成長が可能になりました。”

Shemara Wikramanayake
最高経営責任者

オーストラリアとニュージーランド でのビジネス活動



すべてのビジネスグループで
フルサービスを提供



オーストラリアでトップクラス
のエクイティリサーチチーム



オーストラリア最大級の多角
的な農業経営者



オーストラリア市場初となる
機能を実装して、最先端の
デジタルバンキング商品を
提供



ドメスティック・オフショアエクイ
ティコンフェレンスで投票により
第1位-コーポレート・アクセス・
デイ²



オーストラリアとニュー
ジーランドにおいて過去
10年間でNo.1
のM&A⁷およびIPO⁸

第1位

- ・ オーストラリア・ニュージーランドの電力
関連ファイナンシャルアドバイザーとして³
- ・ AirTrunk主催のデジタルインフラデー
ル・オブザイヤー (APAC)⁴
- ・ ファイナンシャルアドバイザー・オブザイ
ヤー (APAC)⁴
- ・ オーストラリア・ニュージーランドの社会的
インフラ関連ファイナンシャルアドバイ
ザーとして⁵
- ・ ベスト・インベストメント・バンク - オース
トラリア (3年連続)⁶
- ・ オーストラリア・ニュージーランドのファイ
ナンシャルアドバイザーとして⁹
- ・ オーストラリア証券取引所の先物ブロー
カー¹⁰
- ・ M&Aファイナンシャルアドバイザー・オブザイ
ヤー¹¹

リテールバンキングおよび金融サー
ビスのポートフォリオ¹²:

713億米ドルの
プラットフォーム資産残高¹²

646億米ドル
の住宅ローンポートフォリオ

1. Global Finance 2020年、2021年。2. Australian Investor Relations Association Awards 2022年 - マッコーリー・セキュリティ・コンフェレンス(5月、シドニー)。3. Inframation(2021暦年、案件数および金額ベース) 4. IJ Investor Awards 2021。5. Inframation(2021暦年、金額別)。6. Global Finance 2020年、2021年、2022年。7. Dealogic(2012年1月10日から2022年9月30日の間に完了・公表した金額) 8. Dealogic(2012年1月10日から2022年9月30日の間にASXおよびNZXで調達した金額)。9. Inframation(2021暦年、案件数および金額ベース) 10. 2022年9月現在のASX Futures 24(SFE)月次レポート。11. Mergermarket M&A Awards 2021。12. 2022年9月30日現在。

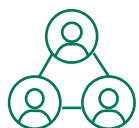
オーストラリアおよびニュージーランドにおけるダイバーシティ およびインクルージョン文化の強化



当社は家族に配慮した職場¹および育児と介護にやさしい組織(国内レベル3)²として認定されており、育児や介護中の人々とその個人的な取り組みを真摯に支援する姿勢が評価されています。



LGBTQ+女性の包摂感と心理的安全性の向上に関する取り組みが評価され、オーストラリア職場平等指数³でプラチナ企業に選出されました。



「インクルーシブ・リーダーシップ・マスタークラス」シリーズを全ディレクターに展開。積極的で目に見えるアライシップを構築し、全社員の帰属意識向上を推進

1. Parents at Work, 2021年。2. Carers + Employers, 2022年。3. Australian Workplace Equality Index, 2021年。

影響を与える

人種的平等への歩みをさらに加速させるため、Reconciliation Australiaと提携して当社初の協調活動計画を策定

CareerTrackersやCareerSeekersのプログラムと連携して、先住民族および難民出身の学生50名に有給インターンシップを提供



ガディガル族の保護を求めて
弊社シドニー本社で開催した特別展「Warrane」

世界各地の拠点 アジア



アジアにおけるマッコーリー



11
市場

従業員数

4,100人以上¹

アジア
バンコク
北京
グルグラム
香港
新竹
ジャカルタ
クアラルンプール

マニラ
ムンバイ
ソウル
上海
シンガポール
台北
東京



*円グラフは2022年9月30日現在の純営業利益に基づく(資本やその他の全社事項における収益を除く)。
1. 2022年9月30日現在。



アジアに関する専門知識と知見

でアジアとその他の地域をつなぐ

世界最大の成長地域

に拠点を確立

1994年からこの地域
でビジネスを展開

“

世界にとってアジアはこれまで以上に重要な地域となりつつありますが、弊社はこの地域とのつながりを生かし、その発展に貢献することができます。”

Verena Lim
最高経営責任者、アジア

アジアでのビジネス活動



ハウス・オブ・ザ・イヤー
・デリバティブ¹
・石油および製品¹
・ベースメタル¹
・コモディティリサーチ¹



2,600人以上
の当社シェアードサービスセ
ンタースタッフがマッコリーの
グローバル事業を支援



406億豪ドルの資産を
運用⁷



クロスボーダー
のフローを推進



680銘柄以上
の株式をカバー²



・ベストワラントプロバイダー³
・トップイシューア－イノベー
ション⁴
・トップ上場レバレッジ商品イ
シューア－⁵



トップクラスのコモディティ清
算参加者⁶



CGMIはコモディティ、金融市場、アセットファイナンスにまたがる統合的
なアジア向け商品を顧客に提供しています

1. 2021年Energy Risk Awards Asia受賞。2. 2022年9月30日現在、アジア11市場を網羅。3. 2022年Structured Retail Products APAC Awards受賞。4. 香港証券取引所から受賞。5. シンガポール証券取引所から受賞。6. コモディティ清算参加企業5社が、シンガポール証券取引所のCommodities Awards 2021を受賞。7. 2022年9月30日現在。8. 2022年版機関投資家ランキングに基づく。9. 2021年第1四半期にinspiratia受賞。10. 2021年上半年に案件数が評価されInframation受賞。



アジア株式調査チームはアジア太
平洋地域の現地証券会社として第1
位にランク⁸

案件数が評価されトップアジアイン
フラアドバイザーとして選出⁹

アジア、インド、日本でNo.1金融ア
ドバイザーとして選出¹⁰

アジアにおけるダイバーシティ、公平性およびインクルージョン文化の強化



LGBTQ+の積極的な受け入れを主導する企業という評価を地域社会の社外パートナーから獲得

Pride Index Silver Award(日本)、Workplace Equality Index Silver Award(インド)、Community Business LGBT Index Bronze Award(香港)をそれぞれ受賞

「インクルーシブ・リーダーシップ・マスタークラス」シリーズを全スタッフに展開。積極的で目に見えるアライシップを構築し、全社員の帰属意識向上を推進

“

「アジアは世界で最も多様な文化と民族を誇る地域です。視点や経験や文化の違いは当社にとって非常に重要です。それがあからこそ、当社は私たちの生活と勤労の拠点である地域社会の代表者となることができます。」

アジアCEO Verena Lim

影響を与える

Asia

Work-Life Harmony Awardを受賞し、「女性が働きやすいインド企業ベスト100社」の1社にも選出

女性の声に耳を傾ける地域男性リーダーの会を発足し、地域社会における様々な企業の男性上級リーダーと女性従業員がネットワークを構築し相互理解を深める機会を推進

The Women's Foundationの「Girls Go Tech」プログラムおよび「Your Future in Finance」(香港)、NavGurukul(インド)との長年にわたるパートナーシップにより、STEM¹分野における女性や女子生徒のキャリア形成に尽力



LGBTQ+の従業員、顧客、地域社会への当社の支援を示すためにPrideイベントを開催

1. STEMは科学(Science)・技術(Technology)・工学(Engineering)・数学(Mathematics)の各分野の総称。

中国におけるマッコーリー



中国市場で

21年以上

の経験



投資資産は、

4,000人
以上

の雇用を創出¹



95万平方メートル以上の低温・乾燥物流施設を混合使用²



4GW以上

の再生可能エネルギー容量³を太陽光発電および風力発電にわたって運用



80人以上

が北京および上海オフィスに勤務



400MW以上

(約10万キャビネット)のデータセンター⁴



80億米ドルを超えるクロスボーダーM&A取引⁵でアドバイザーを提供



69億4,000万豪ドル

を世界中のパブリックおよびプライベート資産クラスにわたって中国の投資家向けに運用⁶

「チャイナ・カーボン・ソリューション」プラットフォームを立ち上げ、国内顧客に対する排出権ソリューションの提供を目指すとともに、排出権証書(CCERSとCEA)の取引にも着手予定⁷

中国におけるエネルギー業界のサプライチェーンに高度な取引ソリューションを提供するブロックチェーンプラットフォームTradeGoの創立株主(他の株主はSinochem、PetroChina、COSCO、Bank of China、Saudi Aramcoなど)

マッコーリーグループ基金を通じて地域社会を支援



スタッフによる資金調達とボランティア活動

教育の支援や、社会的弱者である子供たちや難民の支援の取り組み。

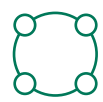
1. MAMが運用するファンドおよびマッコーリーキャピタルが投資した資産で雇用されているスタッフを含む。正社員、臨時社員、建設作業員を含む。2. 稼働および開発中。3. 稼働および建設中。4. 稼働および開発中。すべてのデータは2021年12月31日現在。5. 2018年4月1日から2022年3月31日までの会計期間にわたる。6. すべてのデータは2021年12月31日現在。


7. 欧州の水素化分解油市場に納品するバイオ燃料の調達と取引を開始(2022年5月現在)。


韓国におけるマッコーリー

22年以上

にわたり韓国でビジネスを展開

 CGMIはストラクチャードファイナンス、リース、残留リスクのソリューションをTMT、半導体、マイクロモビリティの各業界の企業に提供するほか、コモディティ、再生可能エネルギー、債券に関するリスク管理ソリューションを提供しています。


 経済的インフラ、社会的インフラ、デジタルインフラ、エネルギー転換インフラに特化した
自己資金投資

 韓国最大の外国投資運用会社の一つであり、インフラ、プライベートエクイティ、プライベートコンセッションの各分野で49件の資産を保有


すべてのデータは2022年9月30日現在。

160人以上

がマッコーリーのソウルオフィスと当社OSSオフィスに勤務

 **資本調達**
個人取引および公共投資の国内・国外商品向け

 **2万1,800人以上**
の雇用を投資資産で創出

 マッコーリーの韓国リサーチは54株式銘柄をカバーし、KOSPIの時価総額の61%を占める。カバレッジ対象を75株式銘柄またはKOSPIの時価総額の70%へ拡大することを目指している。

マッコーリーグループ基金を通じて地域社会を支援





スタッフによる資金調達とボランティア活動

恵まれない子供達への支援、教育およびメンターシップへのアクセス、お年寄り・障害を持つ人々・動物の保護に対する取り組み




台湾におけるマッコーリー


 台湾市場で **17年以上**
の経験


 主に約**3GW**のプロジェクトを開発・建設したグリーン・インベストメント・グループのポートフォリオ企業を通して、再生可能エネルギー分野に特化した投資³

 **40人以上**
が3つのオフィスに勤務¹

 テクノロジーセクター全般の専門知識を備え
55銘柄以上の株式を網羅

 **37億米ドル**を世界中でパブリックおよびプライベート資産クラスにわたって投資家向けに運用²

 2018年より台湾証券取引所およびタイペイエクスチェンジで **ワラント** を発行
タイペイエクスチェンジのOutstanding Warrants Awards 2020を受賞

 **半導体**
トップクラスの設備取引および
アドバイザリープラットフォーム⁴

マッコーリーグループ基金を通じて地域社会を支援



スタッフによる資金調達とボランティア活動
社会的弱者である子供たち、動物、福祉に関するプロジェクトを支援

1. 2022年9月30日現在。2. MAMのみ - すべてのデータは2022年6月30日現在。3. GIGのポートフォリオ企業は現在、洋上風力発電の分野でCorio Generationおよび陸上再生可能エネルギーの分野でBlueleaf Energy。4. 2022年9月30日現在。

日本におけるマッコーリー



20年以上

にわたり
日本でビジネスを展開



120人以上

がマッコーリー日本オフィ
スに勤務



FXおよびコモディティの統合型商品



- デジタルインフラおよびエネルギー移行の機会に対して自己資金投資
- 日本のインフラ投資家100社以上に及ぶ幅広いカバレッジ



投資資本ソリューション

中小型株、IPO、ワラント、ブロックトレード、証券化を含む資金調達



- 投資ソリューション日本の投資家向けのオルタナティブ商品および伝統的な資産クラス¹
- アクティブなオポチュニスティックファンド経由でのプラットフォームを通じた不動産投資
- Global Listed Real Estate Fundに対する投資助言



ヘッジおよび金融ソリューション

電力デリバティブ取引においてトップクラスのプレーヤー

顧客による
現物コモディティへのアクセスを支援



マッコーリーグループ基金を通じて地域社会を支援

スタッフによる資金調達とボランティア活動

低所得者層、恵まれない子供達、危機の影響を受けた人々を対象に、教育および福祉支援へのアクセスをサポート

1. AMP Capital Global Equity & Fixed Incomeのビジネス取引を2022年3月25日に完了。

インドにおけるマッコーリー



16年

にわたりインドでビジネスを展開



1,800人以上

がグルグラムで財務、リスク管理、資産運用、コモディティとグローバルマーケット、ビジネスサービス、テクノロジーに関するマッコーリーのグローバル事業を支援



130

銘柄以上の株式がリサーチカバレッジの対象となり、対象銘柄の時価総額は約1兆米ドル



インドで2008年から事業を展開し、ファンド3本で計25億米ドルの株式投資を実施



再生可能エネルギー容量、脱炭素化およびエネルギー移行の取り組みに投資



60以上の

資産を所有し、道路、空港、再生可能エネルギー、および通信セクターにわたって過去および現在で投資



有数の

独立系株式調査・アドバイザリー企業で、平均勤続年数15年のシニアアナリストを擁し、セクター横断的なテーマに関して他に類を見ない洞察を提供



インドの有料道路で最大級の国際的な投資家であり、インド初の道路民営化を手掛けた所有会社。

5万時間

を超える交通安全トレーニングを毎年開催

民間セクターおよび政府全体で強固な関係性を構築

マッコーリーグループ基金を通じて地域社会を支援



約 3億4,000万

を2015年以来CSR(企業の社会的責任)活動を通じて寄付し、脆弱な地域社会のために教育、生活、福祉、応急救護およびその他の支援に資金提供

スタッフによる熟練したボランティア活動および資金調達活動を通して、助成金の戦略的パートナーをサポートし、若い出稼ぎ労働者が良好な条件で働く機会を得られるよう尽力

1. NHAI: 固定方式とTOT方式のハイブリッドイニシアチブ。MOF: 国家インフラ投資基金。すべてのデータは2022年9月30日現在。

シンガポールにおけるマッコーリー



シンガポールで
25年以上
ビジネスを展開



390人以上
がマッコーリーのシンガ
ポールオフィスに勤務²



シンガポール証券取引所か
ら**2021年上場レバ**
レッジ商品トップ発行者賞を
受賞



マッコーリーのコモディティ
事業と金融市場事業の地
域ハブ



エネルギー移行
顧客の脱炭素化の取り組み
を支援



上場ワラントにおける
マーケットリーダー



アジア太平洋地域でトップクラスのインフラファンドマネージャー**36億3,600万米ドル**を運用。エ
ネルギー、インフラ、公益事業およびテクノロジー資産¹

マッコーリーグループ基金を通じて地域社会
を支援



スタッフによる資金調達
とボランティア活動
社会的弱者である出稼ぎ労働者、
教育、若者、動物、環境、低所得地
域社会を支援

1. MAIF1およびMAIF2ファンド(2022年6月30日現在)。2. 2022年9月30日現在。

フィリピンにおけるマッコーリー



フィリピンで**16年以上**ビジネスを展開



フィリピン証券取引所の時価総額の**4.49%**を占め、市場全体の**トップ7**にランク³

- 最近のM&A案件2件(フィリピン大手発電事業ポートフォリオの支配持分取得、およびLRT-1コンセッション企業の戦略的持分取得)において売り手側の単独アドバイザーに就任
- フィリピン有数の独立系無線鉄塔企業であるPhiltower Consortium, Inc.に対し、有数の電気通信企業からの無線鉄塔ポートフォリオのリース戻し条件付き売却を含む投資を実現



1,000人以上がマニラで

オペレーション、財務、人事、法務、テクノロジー、リスクに関するマッコーリーのグローバル事業を支援

- トップ4外資系ブローカー
- 昨年のIPO案件としては⁴、Monde Nissinの9億5,000万ドル上場案件でジュニア・インターナショナル・ブックランナーに就任
- フィリピンのマッコーリー証券：FMAPでベスト・エクイティ・ハウス第2位⁶



13億米ドルの資本を運用するトップクラスのインフラ資産運用会社で、輸送、電力および再生可能エネルギー(地熱発電)に投資⁵



インフラおよびエネルギーセクターへの自己資金およびアドバイザービジネスを展開。エネルギー移行とデジタルインフラに対する自己資金投資に特化



4年連続でBest in Consumer sector research受賞¹、**2年連続**でConglos sector research受賞²

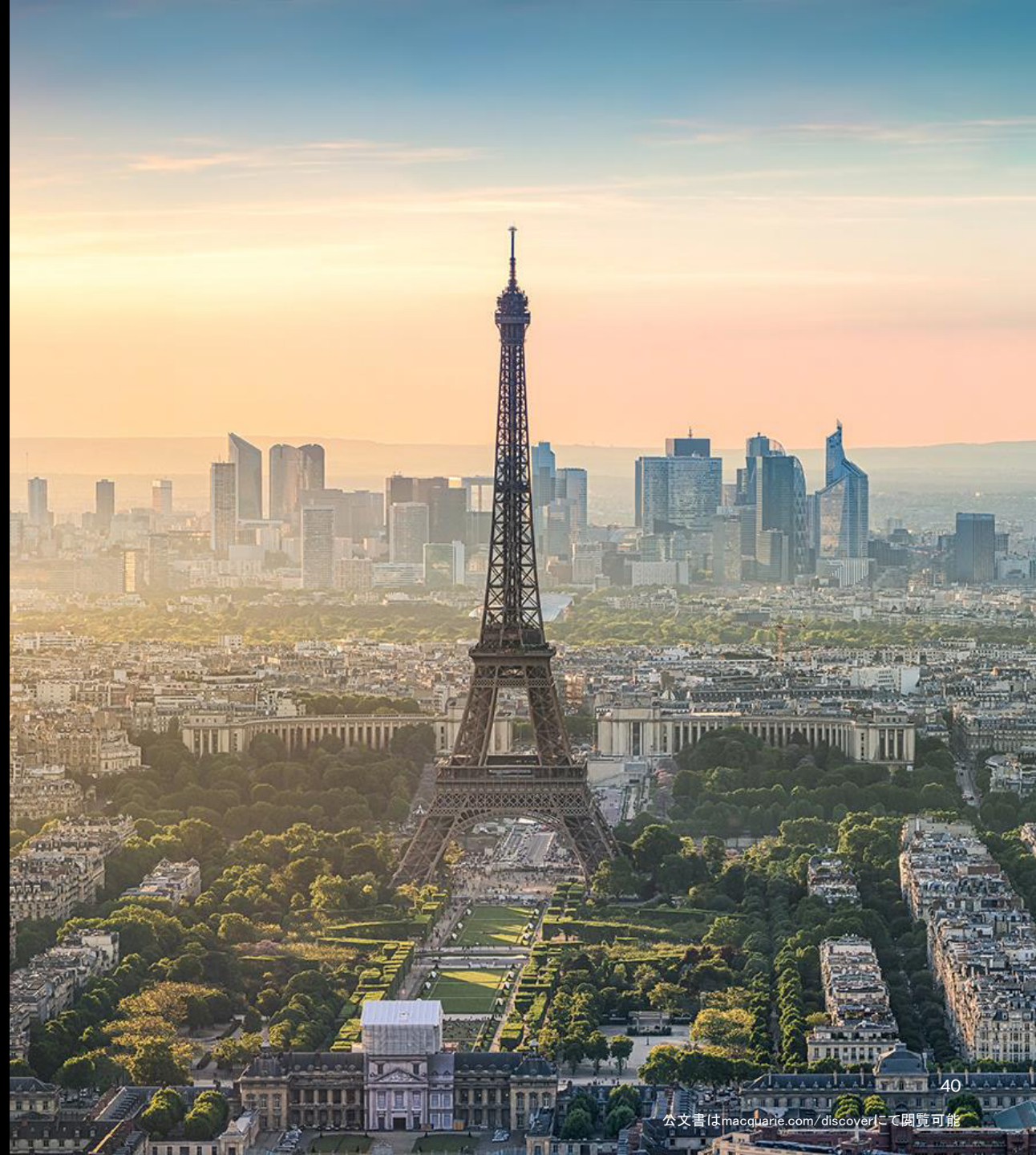
マッコーリーグループ基金を通じて地域社会を支援



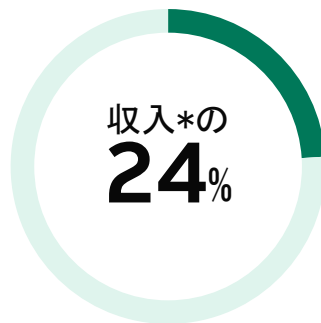
スタッフによる資金調達とボランティア活動
出稼ぎ労働者のサポート、若年教育および学生に対するメンターシップ、危機的状況にある恵まれない子供達、高齢者、低所得者層、動物に対する援助

1. FMAP Awards 2018-2021。2 FMAP Awards 2020-2021。3. 年初来、2022年9月現在。4. 2021年6月1日現在。
5. フィリピンの機関投資家が投資する7億米ドル以上の資金をMAMのアジアインフラファンドで運用。6. 2020年12月、2021年12月受賞。

世界各地の拠点 欧州、中東、アフリカ



欧州、中東、アフリカにおけるマッコーリー



21
拠
点

16
市
場

従業員数
2,700
人以上¹

欧州

アムステルダム
ブレインツリー
コヴェントリー
ブリュッセル
ダブリン
エジンバラ
フランクフルト
ジュネーブ
リムリック
ロンドン

中東

ドバイ

ルクセンブルク
マドリード
ミュンヘン
パリ
レディング
ソリフル
ウィーン
ワトフォード
チューリッヒ

南アフリカ

ヨハネスブルグ

“

EMEAでのマッコーリーのビジネスは絶えず成長を続け、インフラ、エネルギーおよびコモディティにおける弊社のリーダーシップに牽引されて、過去10年間に3倍の規模になりました。我々は、ビジネスにおけるプレゼンスを確立している地域の既存のお客様の支援を継続していくことを第1の優先事項としつつ、その一方で地域のその他の部分にわたり、弊社の影響力、能力および顧客基盤を拡大していきます。”

1989年からこの
地域でビジネスを展開

43件のインフラ事業資産を
運用²

英国以外の各地域の人員が過
去3年間で**79%以上**増加

最高経営責任者（
欧州、中東、アフリカ）Paul Plewman

*円グラフは2022年9月30日現在の純営業利益に基づく（資本やその他の全社事項における収益を除く）。

1. 2022年9月30日現在。2 投資家それぞれが保有する様々な割合の直接持分に基づき、MAMが投資家に代わって運用するインフラポートフォリオ事業を表す。場合によって、ポートフォリオ事業は複数のインフラ資産を運用する場合がある。

欧州、中東、アフリカでの ビジネス活動



EMEAにおいて**985億米ドル**
の資産を運用¹



欧州ガス市場においてトップクラスのリスク管理を提供、液体ガスを積極的に供給し、欧州のホールセール液体ガスハブ全体にわたり取引を実施



最近の主な動き:²

英国を拠点とするグローバルな陸上風力発電事業を始動

ノルウェーとイタリアで大型運輸プロジェクトを実施

英国とドイツでガス輸送事業者に任命

ギリシャで送配電網を建設

欧州の
太陽光開発企業3社を取得

オランダとドイツにおける不動産開発



英国のインフラに対し、2005年以降に**約500億英ポンド以上**の資金調達をアレンジ、および投資を実施¹

ルクセンブルグに拠点を置くValueInvestにおいて**65億ユーロ以上**の資産を運用

ディール・オブ・ザ・イヤー

スペインでのMATSA銅複合体のSandfire Resources買収³

レバレッジドファイナンス ディール・オブ・ザ・イヤー⁴

ダイレクト・インベスター・オブザイヤー (EMEA)⁵

欧州M&Aディールオブザイヤー - オープンファイバー⁶

住宅用
ディール・オブ・ザ・イヤー
- Brigid Investments 英国
老人ホーム⁷



1. 2022年9月30日現在。2. 資産の純資産価値は2022年9月30日現在。3. 2022 MNN Awards。4. 2022年 The Banker。5. IJ Investor Awards 2021 - グリーン・インベストメント・グループ。6. PFI Awards 2021。7. RESI Awards 2022。

欧州、中東、 アフリカにおけるダイバーシティ、 公平性およびインクルージョン文 化の強化



あらゆるバックグラウンドを
持つ人材の登用と活躍に
対する当社のコミットメン
トを反映し、2022年
Ethnicity Awardsでトップ
25の雇用主にランクイン



第1位

英国ストーンウォールが
選出するトップ100企業の
No.1にランクイン、
LGBTQ+に関して最もイン
クルーシブ(包摂的)な英
国企業との評価を獲得¹



Women in Finance Charter
(金融業界で働く女性憲
章)に調印したほか、公表
した目標である性別比率
の改善を当初予定の2022
年1月より18カ月早く達成

「インクルーシブ・リーダー
シップ・マスタークラス」シ
リーズを全スタッフに展開。
積極的で目に見えるアラ
イシブを構築し、全社員
の帰属意識向上を推進。

性別のバランス
融合(人種、民族、宗教、
文化)
Pride(LGBTQ+コミュニ
ティ)

家族および介護者
テクノロジー分野における
女性
Tech Sparkの女性(神経多
様性)

1. Stonewall Workplace Equality Index, 2022年。

影響を与える

当社は2022年度にスポンサーシップ
プログラムを立ち上げ、経済的に恵
まれない集団出身の当社従業員を
支援し、フォーカスグループを設け
て彼ら独自の経験を理解するように
努めています

“

「マッコーリーの取り組みが評価され
たことを誇りに思います。ダイバーシ
ティ、公平性およびインクルージョ
ンは当社の事業にとって非常に重要
であり、経営陣の最優先事項でもあ
ります。多様性を尊重する事業の構
築に今後とも力を入れていきます。」

EMEA責任者 Paul Plewman
(2022年 Ethnicity Awards トップチャ
ンピオン受賞)



ロンドンオフィスにおける人種的
公平性支援の様子

英国におけるマッコーリー



30年以上

にわたり
英国でビジネスを展開。
1989年より拠点を設置



3拠点で**1,800**人

以上を雇用、EMEA地域本
部はロンドン



約63,00人

の雇用を投資資産で創出¹



アバディーン、グラスゴー、
サウサンプトン、ファーンボ
ローの主要空港に投資



1,000万以上のメー
ターを家庭や企業に提供¹



水資源の持続可能性を向
上させる投資をSouthern
Waterを通じて英国で実施



英国のインフラに対し、2005
年以降に約**500**億英ポンド
以上の資金調達をアレンジ、
および投資を実施¹



英国No.1

のインフラ分野ファイナン
シャルアドバイザー²



農村部に超高速ファイバー
を導入するブロードバンド
会社Voneusへ投資し、英国
の10万以上の住宅に回線
を提供



1,100万に上る家庭や企業にサービスを提供する英国最大のガス供
給網Cadentを支援

マッコーリーグループ基金を通じて地域社会
を支援



8件の長期的

助成パートナー³ が、社会的
移動を望む人々の希望を雇用を通
じて実現



CoCoReが**14**年にわたって合
計17,000時間以上のボランティア活
動を行い100以上の組織を支援⁴



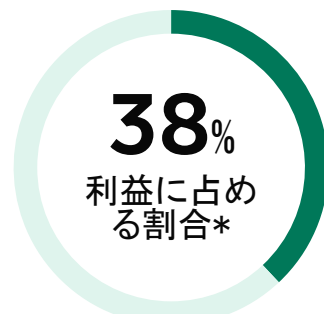
Global Majorityのコミュニティを通し
て人種に関する公平な扱いの実現
を目指す英国拠点の基金 Baobab
Foundationを支援

1. 2022年9月30日現在。2. Inframation (2021暦年、案件数ベース)。3. Baobab Foundation、Duke of Edinburgh's International Award、Generation UK、Islington Giving、Leadership Through Sport & Business、Social Mobility Foundation、Street League、大学。4. 本年はExpediaおよびSlaughter and Mayと提携。

世界各地の拠点 南北アメリカ



アメリカ大陸におけるマッコーリー



米国

ボイシ
ボストン
シカゴ
ダラス
ヒューストン
ジャクソンビル
ロサンゼルス
ミネアポリス
ミシジョン
ナッシュビル

カナダ

カルガリー
モントリオール
トロント
バンクーバー

ニューヨーク
オーランド
オーバーランド
パーク
フィラデルフィア
サンディエゴ
サンフランシスコ
サンノゼ
シアトル
ウォルナットクリーク

ラテンアメリカ

メキシコシティ
サンパウロ
サンティアゴ



“

マッコーリーは10年以上にわたり、米国および北米・中南米で大きく成長しました。弊社は幅広いビジネス基盤を生かし、厳しい条件や競争下でも安定したサービスを世界最大の資本市場のクライアントのために提供し続けてきました。”

Shawn Lytle
南北アメリカヘッド
マッコーリーグループ

1991年
からこの地域
でビジネスを展開

変化を続ける米国の
エネルギーおよびインフラ市場で
トップクラスの地位を構築

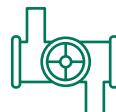
世界最大の資本市場における投資
運用とアドバイザリーを提供

*円グラフは2022年9月30日現在の純営業利益に基づく。
1. 2022年9月30日現在。

アメリカ大陸での ビジネス活動



北米No.5の現
物ガス販売業者¹



約83億立方フィートの天然
ガスを日々北米で取引¹



北米における**No.1**の電
力関連ファイナンシャルアドバイ
ザー
(取引金額ベース)²



米国セクターの専門家によるリ
サーチ、エクセキューション、
アジア太平洋地域における実
績を活かし、
グローバル市場へのアクセスを
提供



デリバティブハウスオブザイヤー、
石油・製品ハウスオブザイヤー、
天然ガス・LNGハウスオブザイ
ヤー³



レバレッジドファイナンス
ディール・オブ・ザ・イヤー⁶

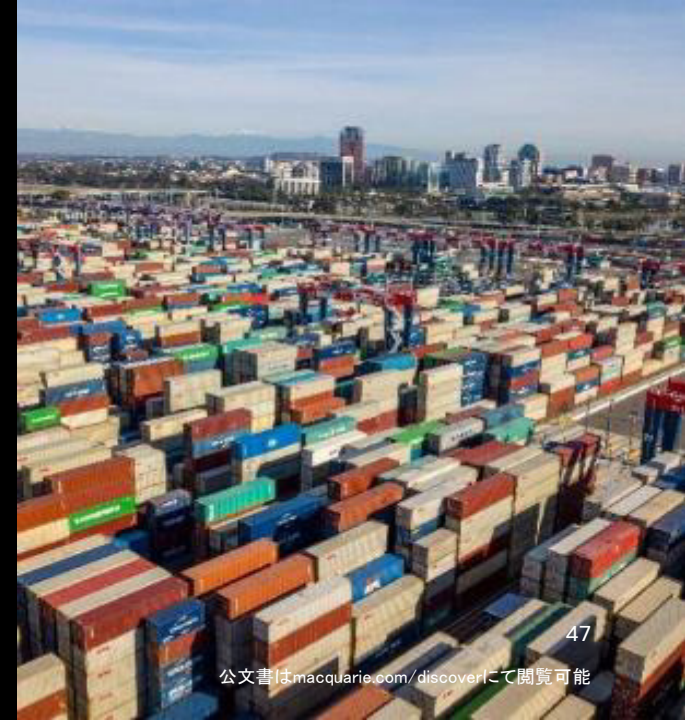
1. Platts 第2四半期 - 2022年6月。2. Inframation (2021暦年、案件数ベースでNo.1)。3. Energy Risk Awards 2022。4. 2022年9月30日現在。5. ジョイントベンチャーの一部として運用するファンドを除く。2022年9月30日現在 (南北アメリカの当社プライベート・ファンド+MICおよびFIBRA Macquarieを含む) 6. The Banker 2022。



世界最大の銅鉱山と
主要輸送路を結ぶルーター・ミネラ



2,333億米ドルの
資産を運用⁴



南北アメリカにおけるダイバーシティ、公平性およびインクルージョン文化の強化



米国を拠点とするヒューマン・ライツ・キャンペーン財団が「LGBTQ+の平等に関して最も働きやすい企業」に認定され、2022年の企業平等指数¹で100点満点中100点を獲得



「インクルーシブ・リーダーシップ・マスタークラス」シリーズを全スタッフに展開。積極的で目に見えるアライシップを構築し、全社員の帰属意識向上を推進

“

マッコーリーは北米・中南米において、人種的平等ファンドなどの取り組みを通じて、社内と地域社会におけるダイバーシティ、公平性およびインクルージョンの取り組みを真摯に加速させています。当社は多様性を強みとして受け入れています。その狙いは、さらに強力な事業と、全ての人により幸せになる未来を築くことにあります。」

北米・中南米責任者 Shawn Lytle

影響を与える

Jopwell、Seizing Every Opportunity、BLK Capital Management、Out for Undergrad、Girls who Investとのパートナーシップにより、多様な人材パイプラインへの投資を継続

2020年7月に設立した人種的平等ファンドは、従業員および助成金を通して人種的平等を推進する、直接的な救援プログラム、研究およびポリシー、教育および経済的平等に対する取り組みへの支援にコミットしています

現在までに、国内・国外で12件の助成金が人種的平等を推進する非営利団体に与えられ、そのうち3件の助成金は複数年のプログラムの資金となっています

Edge4VetsおよびRecruitMilitaryとの提携により、退役軍人のキャリア移行を支援



寄宿舎学校による虐待の被害者・生存者である先住民への認識を高め、讃える、カナダの「真実と和解の日」を尊重

1. Human Rights Campaign Foundation, 2022年。2022年8月30日現在。

米国におけるマッコーリー



米国市場で**30**
年以上にわたって
ビジネスを展開



3,100人以上
がマッコーリーの米国オフィ
スに勤務¹



MAM運用ポートフォリオ企業全体²
で**31,000**人以上の
従業員と請負業者を雇用



米国セクターの専門家による
リサーチ、エクゼキュー
ション、アジア太平洋地域
における実績を活かし、グ
ローバル市場へのアクセス
を提供



19
拠点を米国内に擁し世界と
繋がる³



AerogyのZahn's Farm
プロジェクトは年間**20万**
MBTu以上のRNGを生産

マッコーリーグループ基金を通し
て地域社会を支援



1,200人以上
の米国の低所得者層の
大学生
を支援。関心のある分
野での有給インターン
シップを確保⁴



弊社のRacial Equity
Fund People's
Choice Grantsを通して
人種的平等を推進する
非営利団体に対し、ス
タッフの推薦に基づいて
4件の新規無制限助
成金を授与

1. 2022年9月30日現在。2. 2022年9月30日現在。MAM運用ポートフォリオ企業全体で雇用された従業員および請負業者を含む。3. 2022年9月30日現在。4. マッコーリーグループ基金の8つの大学とキャリア・サクセス助成金パートナーと併せて。

マッコーリーグループの強み インフラストラクチャー

詳細は、[Macquarie.com/impact](https://www.macquarie.com/impact)をご覧ください




インフラセクターにおける 経験と知識


 **最大のグローバルインフラ運用会社¹**

 **約170**のインフラ資産を運用²


 **28年以上**のセクター経験

 **力強い**
業績と、投資家および地域社会への貢献

 **約60銘柄**
の株式を網羅²

 **No.1**のグローバルインフラ分野
ファイナンシャルアドバイザー³

 **No.1**の
ファイナンシャルアドバイザー別グローバルPFI・PPPプロジェクト取扱金額⁴

 **No.1**の
グローバル社会・防衛インフラ関連ファイナンシャルアドバイザー(2年連続)⁵

 インフラデット運用会社**6**
トップ5にランクイン

グローバルインフラセクターの開拓者

1. IPE Real Assets (2022年7月/8月22日)、総AUMに基づいてランキング。2. 2022年9月30日現在。3. Inspiratia (2022暦年および2022暦年第1四半期から第3四半期、取引金額ベース) 4. Dealogic (2021暦年、取引高ベース) 5. IJ Global (2021暦年、金額ベース) 6. Private Debt Investor Rankings, 2022。



経験と知識を積み上げてきた道のり



2022年

グリーン・インベストメント・グループ (2017年以降)

デジタルインフラ (2015年以降)

デットおよびエクイティソリューション (2009年以降)

社会インフラ (2007年以降)

港湾 (2005年以降)

エネルギーインフラ (2004年以降)

通信とメディア (2002年以降)

公益事業 (2001年以降)

空港 (2001年以降)

リサーチカバレッジ (1995年以降)

道路 (1994年以降)

資産運用 (1994年以降)

コーポレートファイナンスとアドバイザー (1981年以降)

タイ最大の保険業者の継続的成長を支援

機会

Thai Lifeはタイ初の保険会社であり、タイ国内で設立されタイ国民によって運営される国内最大の保険業者¹

75年以上前にバンコクで設立された同社は、幅広く認められるブランドとして成長し、2021年には保険料収益総額ベースで業界の14.7%を占める国内第2位の規模を誇る保険業者となりました²

行動

マッコーリーキャピタルは、GICに対する1億6,400万米ドルのコーナーストーン投資を含む、2件のコーナーストーン投資者を確保し、取引に対する大きな早期のディールモメンタムおよび価格の主導権を獲得

弊社は国際的コーナーストーンランシェで全体の79%を占め、最大のコーナーストーン需要を実現

成果

Thai Lifeは2022年にタイ証券取引所で上場。Thai LifeのIPOはタイのランドマーク的取引。現在に至るまで東南アジアでの史上最大の保険IPOであり、金融機関グループIPOでは同地域第3位

急変しやすい市場環境にも関わらずインターナショナルブックは、ブック・ビルディングプロセスでハイクオリティのロングポジションのみを保有する投資家およびヘッジファンドからの強力な支援を受けて、募集枠を大きく上回りました

取引規模
**9億7,200万
米ドル**

調達した資金により3億9,700万米ドルが、デジタル移行、マーケティング、パートナーシップチャネル強化、資金および運転資金の強化など、継続的なビジネスの発展・成長を支援するために投入されます



1. Thai Life Assurance Associationが発表した2020年、2021年、2022年第1四半期の保険料収入総額に基づく 2. Thai Life Assurance Associationの発表に基づく。別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

オーストラリア 最大の独立系無線鉄塔会社の設立



機会

Telstra InfraCo Towersは約8,000基の鉄塔を保有するオーストラリア最大の移動通信用鉄塔インフラプロバイダーです。

マッコーリーはこの分野における豊富な経験を活かし、Telstraと協力して、同社の鉄塔資産の価値を引き出す重要な機会を発掘しました。国内の多くの産業が、加速するデジタル経済に参画して恩恵を得ることを模索しています。

行動

TelstraはTelstra InfraCo Towers株式の49%を売却しました。売却先はFuture Fund、Commonwealth Superannuation Corporation、Sunsuper Superannuation Fund(その後Australian Retirement Trustに統合)をメンバーとしHRL Morrison & Co Ltdが管理するコンソーシアムです。マッコーリーキャピタルはこの案件でTelstraの財務アドバイザーを務めました。

新型コロナが市場に大きな影響を与えたにもかかわらず、この取引は短い日程で完結しました。

成果

Telstraはガバナンスの支配権を維持したままでオーストラリア最大の政府系ファンドから資本と支援を導入できました。

Telstraは長期の鉄塔利用契約を締結し、市場をリードするワイヤレスネットワークの戦略的な差別化を確保すると同時に、投資家のニーズに配慮することにも成功しました。

新しいAmplitel事業は

59億豪ドルの企業価値を達成

しました。これは2021年度のEBITDAaL¹の28倍に相当し、市場予想の最大値に等しい実績でした。

新しい投資家からの資金により、Amplitelのネットワークは成長の持続が可能となり、顧客とコミュニティとの接続のサポートも継続できるようになりました。

¹ EBITDAaLとは、金利、税金、減価償却費および無形固定資産償却費控除前かつリース料控除後の利益をいいます。別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

中国の水資源を守る



機会

中国・大連市の代表的な排水処理施設であるHengji Waterは、産業界が水資源を保全し、環境に優しい社会への移行を加速化させることを目的として、再生廃水の品質向上に取り組んでいます。

行動

マッコーリー・アセット・マネジメント (MAM) は、2014年にコンソーシアムを率いてHengji Waterへの投資を行い、同社の運用実績や下水処理の技術開発を強化する機会を得ました

成果

Hengji Waterは、MAMの支援の下、80を超える廃水処理関連技術と特許を開発しました。これには、中国の国家環境保護技術として認められている²51高酸素バイオフィルター¹が含まれます

Hengji Waterは、化学産業向け国家産業排水処理トレーニング拠点のひとつ³で、この地域で唯一の下水処理施設です

1. 下水から化学的酸素要求量(COD)、生物学的酸素要求量(BOD)、アンモニア性窒素を除去。2. 国家知識産権局により認定。3. 化学産業職業技能検定指導センターにより認定。別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

韓国の重要な 輸送インフラネットワークの 整備

機会

仁川大橋プロジェクトは、1990年代後半のアジア経済危機の最中に始まりました。このとき、韓国政府は、韓国経済の再活性化のための基盤を築くことを目的に、仁川市と関連する交通網を開発することで、経済危機からの回復を加速させようとしていました。

行動

マッコーリー韓国インフラ基金は、シニア債、劣後債および株式の投資家として、2006年に本プロジェクトに資金提供しました。このプロジェクトの工期は4年で、施設の運営を成功させるために、30年間のコンセッションの権利が付与されました。

2017年に、マッコーリーはさらに追加で株式の23パーセントを取得し、本プロジェクトの最大支配株主になりました。

別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。



成果

仁川大橋は、韓国における必須だったインフラ格差の縮小に成功

北東アジアにおける主要な経済・物流の拠点の1つとして、韓国の経済成長を後押し

都市開発の拡大

約6万人

のデイリーユーザーに永宗島および仁川国際空港への直接アクセスを提供

明確な株主ロードマップ

- 安定した運営
- 成長軌跡
- 金融収益性

フィリピンでのデジタルコネクティビティを強化

機会

フィリピン政府が電気通信サービスの改善を義務付けたことを受けて、現在、無線鉄塔インフラに対する大きな需要があります

PhilTowerはフィリピンで急成長を遂げている独立系無線鉄塔企業のひとつで、モバイルネットワークオペレーター(MNO)大手3社すべてを顧客とし、コストパフォーマンス良く急速にネットワーク範囲を拡大させ、4Gおよび5Gへの需要の伸びに対応できるようにしています

行動

マッコーリーキャピタルは2021年以来PhilTowerの株主となっており、Globe Telecom Incから1,350本の鉄塔買収を支援することに株主資本の100%をコミットしています

マッコーリーキャピタルは、このリース戻し条件付き売却取引に関する、PhilTowerの専任ファイナンシャルアドバイザーとしても貢献しています

成果

調達予想額

5億2,000万 豪ドル

初回のファイナンシャルクローズは2022年12月に達成が見込まれています。フィリピンのヴィサヤ諸島・ミンダナオ島への拡大を実現すれば、PhilTowerは国内全域を網羅することになります

MNOとの長期的な戦略的提携によって、コストを削減しながら効率良く迅速に拡大し、フィリピンのデジタルインフラを拡充させることができます

モバイルネットワークへのアクセスを改善することによって地域社会でのデジタルコネクティビティを強化することが、フィリピン経済の主な原動力のひとつです


出所: Globe Telecom Inc. プレスリリース(2022年9月23日) 別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。


マッコーリーグループの強み エネルギー

詳細は、[Macquarie.com/impact](https://www.macquarie.com/impact)をご覧ください




エネルギーセクターにおける 経験と知識


 従来のエネルギーに対する投資1豪ドルごとに、再生可能エネルギーに**6.40豪ドル**を投資¹


 **メーター1,000万個以上**を住宅と企業に提供²

 世界電力分野**No.1**のファイナンシャルアドバイザー³

 **北米No.5**の現物ガス販売業者⁴

 再生可能エネルギー分野**No.1**のファイナンシャルアドバイザー³

 **世界をリードする**再生可能エネルギー開発事業者

 **20年以上**のセクター経験

 **40以上**のエネルギー株がリサーチ対象銘柄⁵

様々なエネルギー分野にわたる知見

1. (i) 純資産を通じて公正価値で測定されるバンキング勘定のエクイティ投資、および (ii) マッコーリーが大きな影響力を持つ、または共同管理している投資(関連会社や合併事業への投資)を含む。連結対象子会社を通じて所有する投資、およびオフバランスシートの出資契約を除く。2. 2022年9月30日現在。3. Inframation(2021暦年および2022暦年、案件数ベース)。4. Platts 第2四半期 - 2022年6月。5. 2022年9月30日現在。

経験と知識を積み上げてきた道のり



2022年

デットおよびエクイティソリューション(2009年以降)

石炭(2008年以降)

再生可能エネルギー(2005年以降)

ガス(2004年以降)

エネルギーインフラ(2004年以降)

資産運用、アセットファイナンス(2003年以降)

メーター(2003年以降)

石油(2003年以降)

電力(1997年以降)

リサーチカバレッジ(1992年以降)

コーポレートファイナンスとアドバイザー(1980年代以降)

金融商品の提供(1970年代以降)

コモディティプ
ラットフォームを
開始

未開拓の市場で革新的な LNGプラットフォーム を立ち上げる



機会

ウェーブクレスト・エナジーは、新しいLNG市場の設立と既存市場の成長を通じて、世界中の供給不足の地域に天然ガスを供給する目的で設立されました。同社には柔軟な資本、開発と資金調達の能力、技術と運営に関する専門知識、現物商品ソリューションといった強みがあり、LNGバリューチェーンの各部分における業務（ガス供給、液化、LNG供給、再ガス化、発電、下流サービスなど）を統合することが可能な立場にあります。

行動

同社は当面の間、中南米市場とアジア市場でのサービスに特化する予定であり、比較的安価で石炭や重油より二酸化炭素排出量が少ない天然ガスを利用しやすくすることにより、天然ガスの市場需要を確立・拡大することを目指しています。同社は、天然ガスへの燃料転換の機会を提供することで直接排出量の削減を支援し、再生可能エネルギーの普及を自然な形で補完します。

成果

ウェーブクレスト・エナジーは、LNGプロジェクトのあらゆるソリューションを提供して導入を促進し、LNGプロジェクトを成功に導きます。ウェーブクレスト・エナジーの経営陣は、世界中の様々な地域や環境でLNGプロジェクトの立案から運営までを実行した幅広い経験を有しています

同社は、統合的な開発手法により、状況の変化に適応しながら市場の独特なニーズに合わせてソリューションをカスタマイズすることができます。また、信頼性と収益性の高い持続可能なLNGプロジェクトを提供しながら、価値と成長の源泉を拡大していくことが可能です。

金融パートナーとして、ゼロ排出量に向けた米国トラック業界の移行を支援

機会

重量輸送業界のゼロ排出量に向けた移行を推進してカリフォルニア州に関連インフラを開発するために、California Air Resources Boardと、California Energy Commissionのクリーン輸送プログラムから助成金が拠出されました

別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

行動

マッコーリーのコモディティーズ・アンド・グローバル・マーケッツ・グループは、現代自動車などの関係業者と連携してコンソーシアムを設立し、30に及ぶXCIENTクラス8に該当する水素燃料電池トラック(FCET)やカリフォルニア州における関連燃料補給インフラの開発を目的として、カリフォルニア州大気資源局およびカリフォルニア州エネルギー委員会のクリーン輸送プログラムから助成金を受領しています

本プロジェクトNorCAL ZEROでは業界リーダーの取り組みを結集して、カリフォルニア州における輸送のゼロ排出に向けた移行を推進しています



成果

マッコーリーはFCETを所有して、車両運営会社Glovis Americaへリースを行い、カリフォルニア州オークランド湾周辺で業務を行う予定

First Element Fuelは、Air Liquideが提供する水素燃料を用いて、高スループットの液体水素燃料補給ステーションを建設および運営する予定

マッコーリーが世界中で同様のゼロ排出量車両の開発および発展に取り組む中、本プロジェクトは重要なマイルストーンとなる

ゼロ排出量トラックとインフラのパイロットプロジェクトは、カリフォルニア州全体の取り組みである「Climate Investments」の一環で、温室効果ガスの排出量削減、経済の強化、公衆衛生と環境の改善(特に恵まれない地域)に数十億ドルのキャップアンドトレードを活用するものです。詳細についてはcaclimateinvestments.ca.govをご覧ください。

サハラ以南のアフリカ地域で 料理用コンロの提供プロジェクトを 展開



機会

料理用コンロの流通プロジェクトは、大規模なネット排出量の削減を即座に達成する極めて優良な炭素プロジェクトです

手頃な価格でクリーンなエネルギーを提供、女性と子供の健康の向上、ジェンダー平等の推進、単純労働の削減など、さまざまな方面で国連の持続可能な開発目標に寄与しています

行動

マッコーリーのコモディティーズ・アンド・グローバル・マーケッツ・グループ、C-Quest Capital LLC (CQC) およびパートナーは、サハラ以南のアフリカ地域で、伝統的な調理方法である裸火を利用する農村地域に料理用コンロを普及させるプログラムへの投資を行っています

本プロジェクトは認証基準となる排出量の削減を達成するだけでなく、当該地域の社会と健康を改善する意義ある取り組みです

成果

本プロジェクトは発展途上国の
約370万世帯に料理用コンロ
を無償で提供し、今後10年間で

2億トン超の炭素排出量を削減する見通し

マッコーリーは自らの案件組成スキルとCQCの専門的な知見を融合して、本プロジェクトと他の類似のCQCのプロジェクトによりカーボンオフセットを展開

本パートナーシップのおかげで、企業と当該国は、サハラ以南のアフリカおよび東南アジア地域全体で大規模な投資プログラムを展開し、独自の優れたカーボンオフセットを実現

別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

フィリピンにおける 地熱発電の支援

機会

フィリピンのエネルギー需要は、人口の増加と都市化により増加しており、今後5年間で8GW超の発電能力を有する施設が必要となります。¹

行動

マッコーリーが主導するコンソーシアムは、株式公開買い付けを通じて、世界最大の垂直統合型の地熱発電会社Energy Development Corporationの株式の47.5%を取得しました

¹ PHL新エネルギー容量は2027年までに7,911MWに到達する見込み(2022年2月 Business World) 別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。



成果

現地の強力なパートナーとの協力体制

エネルギー省の2016年～2030年エネルギーロードマップに貢献

1.4GW

のクリーンエネルギーを地域社会に提供

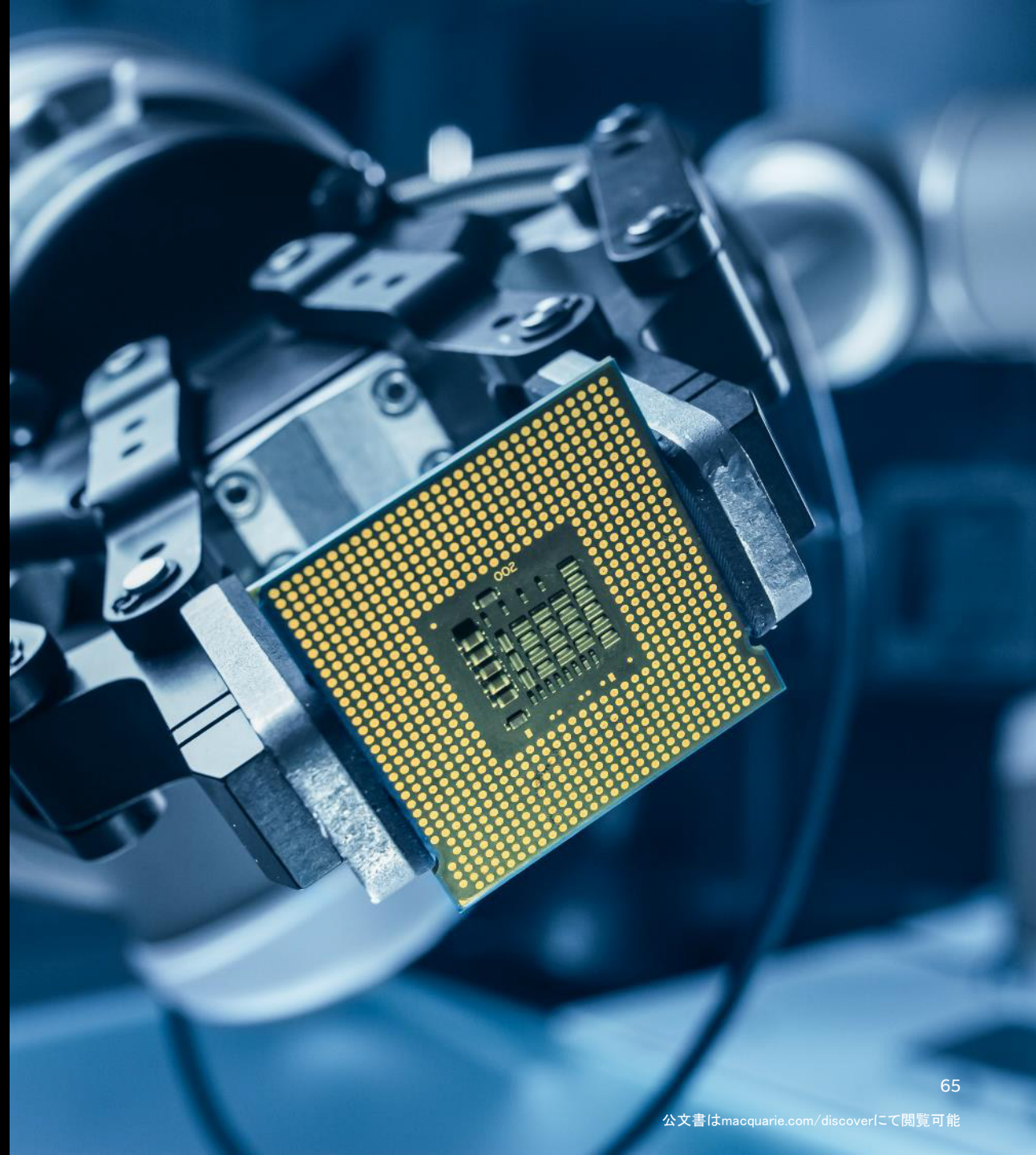
国内の設置済み地熱発電容量合計の

60%以上


を提供

マッコーリーグループの強み テクノロジー


詳細は、[Macquarie.com/impact](https://www.macquarie.com/impact)をご覧ください




テクノロジーセクターにおける専門性




オーストラリア
No.1のIPOアド
バイザーであり、テクノロジーセクターのIPOでは独占的な市場シェアを誇る¹



オーストラリア
初のオープン
バンキング・プラットフォーム




1つの中核的なバンキングシステムを備えた、融資とリテール預金を提供するオーストラリア
初の銀行



受賞歴のある
デジタルバンキングサービス²



通信、メディア、テクノロジー株は
300銘柄
柄以上
をカバー³



テクノロジー革命
を迎える体制を社内のみならず、お客様にも提供



毎年開催のマッコーリー・テクノロジーサミットには、ビジネスや地域社会のさまざまな面で技術的な変革を推進するグローバルリーダーが集結します

1. Dealogic (2022年9月30日現在の取引金額ベース - ASX tech IPO 過去10年で5,000万豪ドル超) 2. Mozo Experts Choice Awardsで2022 Everyday & Savings Bank of the Yearを受賞、Excellent Banking App and Internet Bankingに関して2021年のMozo Experts Choice Awardsを受賞。Canstar Outstanding Value Transaction Account 2021およびCanstar Outstanding Value Savings Account 2021を受賞。3. 2022年9月30日現在。

経験と知識を積み上げてきた道のり



プラットフォームに投資

1999年	2012年	2014年	2015年	2016年	2018年	2022年
<ul style="list-style-type: none"> 1999年 以来の革新的なラップ投資プラットフォーム 	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリアの中核的バンキングプラットフォーム グローバル石油取引プラットフォームの導入 	<ul style="list-style-type: none"> API対応テクノロジー 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車購入およびファイナンスエコシステム スマートメーター (英国住民向け) 	<ul style="list-style-type: none"> Google Payをサポート 最先端のデジタルバンキング経験 	<ul style="list-style-type: none"> 音声検索を可能にする、オンラインおよびモバイルバンキング向け自然言語認識 Apple Payをサポート 	<ul style="list-style-type: none"> PhilTower買収 Accelcomm Wavecrest

起業家と共に投資

1999年	2010年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
<ul style="list-style-type: none"> Seek 1999年 	<ul style="list-style-type: none"> RPData Smart Salary oOh!media SeekAsia Nuix 	<ul style="list-style-type: none"> PEXA Temple & Webster Takeaway.com 	<ul style="list-style-type: none"> Next Payments 	<ul style="list-style-type: none"> FinTech Collective (Fund I) RedEye Renrui HR 	<ul style="list-style-type: none"> Informatica Stone & Chalk Digital River 	<ul style="list-style-type: none"> Console FoodByUs 	<ul style="list-style-type: none"> FinTech Collective (Fund II) 	<ul style="list-style-type: none"> PropertyIQ マッコリーキャピタルベンチャースタジオ設立 	<ul style="list-style-type: none"> Dovel Technologies Streetlight Envoy Technologies AirMap Teralytic 	<ul style="list-style-type: none"> Streetlight Bluefin Unitek 	<ul style="list-style-type: none"> Procentrix JOOR Overhaul Harry's Form Energy 	<ul style="list-style-type: none"> PayIt Autobooks Velosimo Daxko N2Y

マッコリーの機能に投資

2013年	2014年	2016年	2017年	2018年	2021年
<ul style="list-style-type: none"> 受賞歴のある50 Martin Placeの職場環境 クラウドファースト戦略 	<ul style="list-style-type: none"> 強化されたサイバーセキュリティ機能 プライベートクラウド(アジア) パブリッククラウド(グローバル) 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク再編プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> プライベートクラウド(オーストラリア) 	<ul style="list-style-type: none"> プライベートクラウド(南北アメリカおよびEMEA) 	<ul style="list-style-type: none"> 完全クラウドベースの総勘定元帳に移行

食品用レベルの再生PETの可用性を支援

機会

規制の影響と構造的市場の変化を受けて、再生ポリマーの世界的供給不足が発生し、生産能力を高めるためにさらに多くの収集・分類・処理施設を建設するための資本に対する需要が大きく高まっています

マッコーリーグループのコモディティ・グローバル市場 (CGM) グループは、全米に複数の施設を建設することで食品用レベルの再生PET (rPET) 樹脂を生産できるよう、HPC Industries LLCとジョイントベンチャーを立ち上げました

行動

Circularixとして事業を行うこのジョイントベンチャーは、薄片から小粒まで5種類の再生施設を建設・管理・運営する予定。2024年までに年間2億7,500万のrPET樹脂の生産能力達成を目指します

Circularixの施設は、高価値再生梱包材市場に直接還元される、ポストコンシューマー素材の製造を拡大させる一助となります

成果

マッコーリーはCGMグループと協力し、購入および先物販売契約および為替予約によって、グロース株式、プロジェクト債券、機器のファイナンスなど、一連の補完商品を提供することができました

マッコーリーは、JVパートナーと密接に協力し、複数年にわたる「テイク・オア・ペイ」コミットメント、国内フレック対地域的ベールインデックスの参照など、rPETオフテイク契約基準を大きく構造的に変化させるよう尽力しています

別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

グローバルな教育テクノロジーのソリューションとプラットフォームを実現

機会

Tes Global (Tes) は教育セクターに総合的ソフトウェア・ソリューションを提供する国際的企業です

Tesの新しいパートナーとして最適だったのがオネックス・パートナーズです。同社は、教育サービス分野への投資経験と、自社ポートフォリオ下の事業会社をサポートしてきた強力な実績を持つ投資会社です。

行動

マッコーリーキャピタル・プライベートクレジットは、ユニットランシェ融資と買収資金ファシリティを提供し、取引の推進を支援しました。

マッコーリーはソフトウェアや教育テクノロジーへの造詣が深いため、確実な情報を迅速に提供してオネックスの投資を支援することができました。また、マッコーリーのバランスシートを柔軟に活用して、迅速かつ効率的に買収資金を提供することができました。

別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。



成果

マッコーリーは、カスタマイズした柔軟なプライベートクレジットソリューションを提供することにより、パートナーシップを通じて、テクノロジーを活用した高品質な製品とサービスの利用拡大に成功しました。

Tes は、オネックスとともに、世界中の教員にインテリジェントなオンライン製品とサービスを提供することで、教育界に変化をもたらすという使命をさらに推進していくことになります。

これらの製品により、

117カ国の

25,000校に在籍する

1,370万人の教員が、

90万件以上の授業資料と授業計画を作成しています。

食料品の 即時配達でオンラインショッピング の常識を破壊する



機会

2020年5月に創業したGorillas Technologies GmbH (Gorillas)は、オンデマンド食料品即時配達プラットフォームの欧州大手です。

超ローカルな倉庫を活用し、小売価格で販売する商品を数分以内に配達することにより、あらゆるものを迅速かつ手頃な価格で提供する「クイックコマース」を再定義しています。

Gorillasは9カ国の60以上の都市に拠点を持ち、200箇所以上の倉庫を運営し、14,000人以上の従業員を雇用しています¹

行動

マッコーリーキャピタル・プリンシパルファイナンスは、様々な規模の企業をグローバルに支援してきた豊富な実績を活かし、GorillasのシリーズCプライマリー資金調達案件に参加しました。

この投資はマッコーリー傘下の法人を通じて実施されました。

成果

国際的な急成長に伴い、Gorillasは今後次のフェーズに移行します。

同社は、規模の拡大を志向する強固な事業基盤を構築しつつ、新たな市場で将来の成長機会を獲得することをも併せて目指しています。

同社は、今回の資金調達により、既存市場での事業展開を強化するとともに、業務運営、人材、テクノロジー、マーケティング、財務の各インフラへの投資を拡大することが可能となります。これらの投資は、同社が優れたカスタマーエクスペリエンスを継続的に提供するために非常に重要です。

1. Gorillas社内データ、2022年2月現在。別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

長期的なパートナーシップを通じて ソフトウェアと決済代行業務 の主導的プロバイダーを育成

機会

Daxkoは、会員制の健康増進団体(ジム、YMCA、コミュニティセンターなど)に日常業務、会員管理、総務に関するソリューションを提供する統合ソフトウェアと決済サービスの大手プロバイダーです。

Daxkoは、顧客とその会員に高品質な体験を提供するために、事業、商品、従業員基盤の拡大に向けた投資をこの数年行ってきました

行動

マッコーリーキャピタルは、GIパートナーズによるDaxkoの買収を支援する目的で、有担保シニアタームローンと有担保シニアリボルビングクレジットファシリティを提供しました。また、複数回にわたってそれらの融資を増額し、各種の追加買収を実現させました。2021年には、GIパートナーズがDaxko株式をジェンスターキャピタルに売却する手段として実施するリキャップ取引の支援策として、Daxkoへのユニートランシェ融資を実行しました。



成果

この投資は、Daxkoの製品開発、カスタマーサポート、セールスとマーケティング、戦略的買収に関するイノベーションの推進を支援するものです。ジェンスターは、ソフトウェアおよび決済代行のセクターにおいて、投資および業務運営上の深い専門知識を有しており、それを通じてDaxkoの製品ラインナップはさらに変革と拡大を遂げると見込まれます。

55カ国以上でDaxkoのソリューションを利用

19,000の施設でDaxkoのソリューションを利用

2,500万人以上の会員をDaxkoのソフトウェアシステムで管理

別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

通信事業者の法人顧客を対象とした持続可能なデバイスライフサイクルプログラムの構築



機会

スマートフォンやタブレット端末は、私たちの暮らしにとってますます重要な機器となっていますが、他方では大量の二酸化炭素や電子機器廃棄物の発生原因ともなっており、その多くが埋め立て処理されています。

マコーリーは、デバイス・ライフサイクル・マネジメント(DLM)プログラムを通じて、スマートフォンやその他デバイス向けの優れたマネージドサービスを法人顧客に提供する通信事業者を支援しています。マコーリーは、このプログラムを拡張することにより、通信事業者がそれらのサービスをより持続可能な方法で提供可能にする機会があると考えました。

別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

行動

マコーリーは、機器のライフサイクル全体で発生する二酸化炭素量を計算するモデルを構築し、独立した検証を実施しました。これにより、DLMプログラムに登録した機器のカーボンインパクトを定量化して相殺することが可能になります。

さらに、マコーリーは通信事業者に代わって必要なカーボンオフセットの調達と償却を行い、機器に関連する二酸化炭素排出量を軽減します。

また、マコーリーは、戦略的パートナーと協力して、プログラムの設計過程に電子機器廃棄物リサイクルのソリューションを組み込み、廃棄物ニュートラルの達成を図ることで埋立地の電子機器廃棄物を削減しました。

成果

マコーリーは、持続可能性がさらに高いDLMプログラムを作成し、3つの重要なサステナビリティ機能を推進しました。



使用可能期間の延長:
「返却、再生、再展開」の手法により機器の耐用年数を延長します。これは排出量と廃棄物の大幅な削減につながります。

1:1

廃棄物ニュートラル:
このプログラムにデバイスを登録することにより、アフリカの埋立地から別のデバイスを見つけ出して持続的にリサイクルすることが可能となり、原材料をバリューチェーンに再投入することができます。



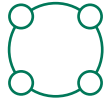
カーボンニュートラル:
二酸化炭素排出量を一度計算すれば、顧客は、自社顧客、市場、社会のニーズの変化に合わせて、自社の事業に適したカーボンオフセットプロジェクトを柔軟に選択することができます。

マッコーリーグループの強み コモディティ

詳細は、[Macquarie.com/impact](https://www.macquarie.com/impact)をご覧ください



コモディティに関する 専門知識の概要



ハウス・オブ・ザ・イヤー

デリバティブ^{1,2}、石油・石油製品^{1,2}、
天然ガス・LNG¹、ベースメタル²、コモディティ
リサーチ²



北米No.5

の現物ガス販売業者³



約83億立方フィートの天然
ガスを日々北米で取引⁴



内勤の技術専門家

物流専門家、地質学者、気象学者、採掘・石油技術者、データ科学者および数理ファイナンスと理論物理学の博士号取得者を含む



現物市場および金融市場にわたるリスク
および資本ソリューション

40年間にわたり、マッコーリーの中核事業

1. Energy Risk Awards 2022。2 Energy Risk Asia Awards 2021。3. Platts 第2四半期 - 2022年6月。4. Platts 第2四半期 - 2022年6月。



経験と知識を積み上げてきた道のり



2022年

Global carbon business (2021年)

バルクコモディティ
と石炭(2008年)

ソシエテジェネラルのOTCエネルギー
コモディティポートフォリオの買収(2020年)

北米の
電力(2008年)

欧州の電力(2011年)
オーストラリアの電力(2011年)

Cargill North America Power and Gasの
買収(2017年)

コモディティプラッ
トフォームを開始

ストラクチャード・コモディティ・
ファイナンス(2006年)

コモディティ投資家
商品(2012年)

欧州のガス
取引(2004年)

Cook Inletの買収(2005
年)

Corona小売ガス供給
(2006年)

Constellationのガス取引事業の買
収(2009年)

グローバル石油デリバティブ(2003年)

現物石油
プラットフォーム(2011年)

中南米マーケティング
(2016年)

Cargill Petroleumの
買収(2017年)

農産品(1990年代)

ベースメタル(1990年代)

貴金属(1970年代)

オーストラリア最大にして世界的に重要な銅生産者1社の設立をサポート



機会

Sandfire Resourcesは、オーストラリア証券取引所 (ASX) で上場した、多様化した持続可能な採掘を行う世界的な採掘企業です

Sandfire Resourcesにとってもマッコーリーキャピタルにとっても、そしてより広範囲のセクターにとってもランドマーク的な取引となる、野心的な買収を行うことにより、Sandfire Resourcesのポートフォリオを変貌させる機会に恵まれました¹

行動

マッコーリーは、TrafiguraおよびMubadalaからスペインのMATSA Mining Complexを買収する18億6,500万米ドル規模の取引において、Sandfire Resourcesの単独ファイナンシャルアドバイザーを務め、買収資金の一部として調達された12億5,000万豪ドルに関するジョイントリードマネジャーとしての役割を担いました

マッコーリーは、リソースアドバイザーチームおよびエクイティキャピタルマーケットチームを通して、包括的なアドバイスと資金調達ソリューションを提供し、コモディティおよびグローバルマーケット採掘金融チームは施設買収に対して6億5,000万米ドルを融資しました

成果

この地域での数十年にわたる運営の基礎を確立する長期的な銅資産を確保。銅は、エネルギー移行の原動力である電化に際してますます価値が上がり、重要なものとなっています

オーストラリアおよびスペインに鉱山を持つ最大の銅生産業者のひとつであり、ボツワナおよび米国でプロジェクトを開発するASX上場企業

過去10年間でオーストラリア最大のアウトバウンドベースメタル買収

2009年のRio Tinto以来最大の、ASXにおける金属・採掘セクターにおける資金調達

1. 2022年7月現在。別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

ヘッジと供給のソリューションを組み合わせて再生可能セクターへの進出を支援



機会

BioUrja Group (BioUrja)は、バイオ燃料、石油製品、動物飼料製品など農産物コモディティおよび工業用コモディティの多国籍サプライヤーおよびトレーダーであり、ヒューストンに拠点を置く企業です。

マッコーリーとBioUrjaの関係は、同社の設立当初にマッコーリーがリボルビングクレジットファシリティを提供したことにさかのぼります

BioUrjaは、再生可能セクターへの継続的な進出と世界的なエネルギー転換への参画の一環として、米国イリノイ州のエタノール工場を購入する合意を2021年10月に締結しました

別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

行動

BioUrjaは、エタノール工場を取得する際に主なコモディティリスクを特定した上で、原料や公共サービスに関連するコモディティのエクスポージャーをヘッジしてプロジェクトの内部収益率を固定化することに関して、マッコーリーのコモディティーズ・アンド・グローバル・マーケット・グループに支援を要請しました

また、マッコーリーは、デューデリジェンスに際して、BioUrjaの主なオペレーションリスクの特定を支援するとともに、天然ガスの供給に関する価値を明確化し、主なコモディティの供給を支援しました。

成果

マッコーリーは、BioUrjaによるエタノール生産への進出を支援するために、統合ヘッジと天然ガスの現物供給取引を実行することができました。

BioUrjaは、マッコーリーとの長年にわたる関係や、ヘッジと天然ガス供給を組み合わせるマッコーリーの能力により、顧客に完全なソリューションを提供し、競合他社との差別化を図ることができました。

電池用化学品製造施設の開発資金を調達



機会

フィンランドのソトカモに拠点を置くTerraFame Limited (TerraFame) は、電池のサプライチェーンにニッケルとコバルトの中間製品を供給する主要グローバルサプライヤーです。

2億5,000万ユーロを投じた電池用化学品工場の建設を最近完了させた同社は、これらの中間製品を精製して電気自動車用バッテリーの主要原料である硫酸ニッケルとコバルトを生産する能力を獲得しました。

行動

マッコーリーは、TerraFameの新しい電池用化学品工場における生産力増強に必要な運転資金ニーズを支援するため、4年間の繰上弁済ストラクチャーによる9,000万米ドルの融資枠を設定しました。

また、マッコーリーは、TerraFameとその最終購入者との間における硫酸ニッケルの中間貨物について、物理的な実行と物流の専門知識を提供します。

成果

マッコーリーのソリューションは、TerraFameの既存の資本構造の制約を満たすと同時に、TerraFameが製品のマーケティングを完全にコントロールすることを可能にしました。

世界最大級である電池用化学品の生産能力（年間で電気自動車約100万台分）を持つ工場において生産能力を引き上げたことにより、TerraFameは、特に欧州市場における電気自動車の需要増に素早く対応することが可能になります。

画像 © TerraFame Ltd. 別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

農業における排出原単位の削減



機会

マコーリー・アセット・マネジメント(MAM)は、670億豪ドル¹規模を誇るオーストラリアの農産業が同国における低炭素経済への移行に果たす重要な役割を理解しています。オーストラリアのGDPの3%を占める農産業²で、2050年までに同国のネットゼロ目標を達成するには、長期的に持続可能な農業を実践することが不可欠です

行動

MAM、オーストラリア連邦科学産業研究機構(CSIRO)、Clean Energy Finance Corporation(CEFC)は先日、エネルギー・排出・効率諮問委員会(3EAC)を設立しました。3EACの主な目的は、炭素排出量の削減、生産性と気候変動への耐性の向上、およびオーストラリア農業セクターの成長を支援することにあります

成果

「FarmPrint」は、3EACが開発した炭素排出量を計算するツールです。オーストラリアの農業従事者は、このツールを使って農場の環境フットプリント(環境に与える負荷を表す指標)を監視したり、基準値と比較したり、評価したりすることにより、排出量に関する知見を得ることが可能

このツールをさらに発展させることにより、将来的には複数の気候帯にまたがる農業資産の持続可能な運用を支援することが期待される

農業関連事業を手掛けるViridis Agは、パイロットプログラムを通じて、炭素排出の現状を把握し、排出量を抑えた経営に向けたロードマップを策定

¹ Snapshot of Australian Agriculture 2021、オーストラリア政府の農業・水・環境省が2021年に公表。² Economic contribution of regional, rural and remote Australia、National Rural Health Allianceが2021年に公表。別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。

マッコーリーグループの強み 再生可能エネルギー

詳細は、[Macquarie.com/impact](https://www.macquarie.com/impact)をご覧ください



再生可能エネルギーに関する 専門知識



2022年3月31日までの過去5年間で、グリーンエネルギー資産に投資したり、拠出を確約または準備したりした資金は
320億豪ドルに到達



約107GW以上のグリーンエネルギープロジェクトを開発、建設、または運用中¹



再生可能エネルギー開発で
世界をリードする
再生可能エネルギー開発事業者



再生可能エネルギー分野
No.1
のファイナンシャルアドバイザー²



Environmental Products
Bank of the Yearを受賞³



従来のエネルギーに対する投資1豪ドルごとに、再生可能エネルギーに
6.40豪ドルを投資⁴

2022年9月30日現在。1. グリーンエネルギー資産のGW(ギガワット)は、各資産の100%生成能力を反映(マコーリーが2022年9月30日時点で所有/運用する部分によるものではない)。2. Inframation(2021暦年および2020暦年、案件数ベース)。3. Energy Risk Awards 2020。4. (i) 純資産を通じて公正価値で測定されるバンキング勘定のエクイティ投資、(ii) マコーリーが大きな影響力を持つ、または共同管理している投資(関連会社や合併事業への投資)および(iii) 連結対象子会社を通じて所有する投資を含む。2022年3月31日時点でのオフバランスシートの出資契約を除く。

経験と知識を積み上げてきた道のり



2022年

カーボンオフセット(2021年)

炭素回収・貯留(2020年)

Eモビリティ(2020年)

水素(2020年)

電池電力貯蔵(2017年)

Green Investment Bankの買収(2017年)

地熱発電(2017年)

洋上風力発電(2010年以降)

太陽光発電(2008年以降)

バイオマス(2005年以降)

埋立ガス／バイオガス(2005年以降)

水力(2005年以降)

陸上風力発電(2005年以降)

再生可能エネルギー(2005年以降)

エネルギーインフラ(2004年以降)

メーター(2003年以降)

電力(1997年以降)

新興国における ネットゼロ経済への移行 を支援



機会

サハラ以南のアフリカでは、6億人を超える人々が電気のない生活を送っています。¹ グリーン・インベストメント・グループ (GIG) は、英国政府と共同でUK Climate Investments (UKCI)²を設立し、民間資本を動員して、発展途上国が信頼性の高い電力供給を確保し、エネルギー移行を加速できるよう支援しています。

行動

国際気候投資資金より2億英ポンドを様々なプロジェクトに投資するよう委任されたUKCIは、インドとアフリカにおいて、公共事業規模の画期的な再生可能エネルギープロジェクトの資金調達に尽力するとともに、革新的なグリーンファイナンス市場の構築を支援しています。

成果

国際投資家を対象としたインド初の非上場再生可能エネルギーファンドであるイールドコでは、31万5,000世帯へのクリーン電力を提供
インド最大手のPPA供給企業のひとつであるCleanmaxに投資し、急速に拡大するインドの再生可能電力セクターの成長をサポート

アフリカ初の上場再生エネルギー・イールドコであるRevego Africa Energy、およびケニアにおける手頃な価格のグリーン住宅に対し、要となる8,500万英ポンドのコーナーストーンコミットメントを実行
約1GWの発電容量を持つ南アフリカの陸上風力発電は、UKCIが立案した革新的な黒人経済力強化資金が助成

1. IEA (国際エネルギー機関) 「The Covid-19 crisis is reversing progress on energy access in Africa (COVID-19危機がアフリカにおけるエネルギーアクセス発展の妨げに)」- [iea.org](https://www.iea.org/)に掲載。2. グリーン・インベストメント・グループ (GIG) と英国政府のビジネス・エネルギー・産業戦略省とのジョイントベンチャー (現在、第三者投資には公開されていない)。別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。



インドの 電気自動車への移行に融資



機会

輸送業界はインドで3番目に大きな温室ガス (GHG) 排出セクターであり、全二酸化炭素排出量の13%を占めています。電化による輸送セクターの脱炭素化には巨大な機会があるものの、電気自動車の高価格、テクノロジー面でのリスク、充電インフラの不足によって、移行を阻む障壁に直面しています。インド政府は、2070年までに二酸化炭素排出量をネットゼロにする誓約の一環として、輸送セクターを主な優先事項として挙げています。

行動

マッコーリーは、独自のリースおよび融資ソリューションを導入するプラットフォームを設立し、電気自動車の多額の先行投資費用を軽減し、電気自動車用充電インフラを阻む要因に対処し、業務用電気自動車の性能の不確かさに対処するよう提案しています

国連の緑の気候基金 (GCF) では、インドで初の電気自動車向けリースおよび融資専門企業を設立するために、2億米ドルのジュニア資本へのコミットメントを承認しました

成果

マッコーリーはGCFと協力して、インド全域で電気自動車の適用を促進するための、新しい混合型ファイナンスプラットフォームを進めています

この融資プラットフォームは、インドの高度電気自動車への移行を加速するために、15億米ドルを投資することを目的としたものです。10年の導入期間を提案しており、全体で温室ガス排出量を約9.5 MtCO₂e削減することが見込まれています

投資期間にわたり
15億米ドルの

投資が目標

10年

の導入期間

全体で温室ガス排出量の
約9.5 MtCO₂e削減
が目標

インドの現地農家がクリーンな未来を構築するよう支援



機会

マッコーリーアセットマネジメント(MAM)は、運営、環境、地域社会に大きな利益をもたらす革新的ソリューションの数々を実現すべく、Stride Climate Investmentsを支援しています

これには、健康面・安全面でのリスクを削減することで地域社会の農業に対する悪天候の影響を最低限に抑えるためのソリューション、運営の効率を高め、電気グリッドにクリーンエネルギーをさらに注入する取り組みを進めるソリューションなどが含まれます。

行動

MAMとインドのStrideの経営陣は、この問題に多角的に対処するよう、地域社会の関与とテクノロジーを取り入れています

このアプローチとアクションによって、ビジネス、従業員、地域社会に対して長期的に持続する大きな影響を実現しています

成果

現地の農家に残留穀物の焼却を停止し、パンジャブのバイオガスプラントの原料として寄付するよう支援

- 温室ガス排出量を4,700トン削減して大気の状態を改善し、火災のリスクを軽減して太陽アレイに灰が癒着することを阻止し、グリッドへの電力注入を最大化して、従業員の安全性を改善

厳しい天候モニター、緊急SMS、メールによる通知、レジリエンス計画、避難訓練、高リスク時の待機車両を強化

- MAMによる買収以来、サイクロンによる従業員のケガ、または深刻な資産損失が発生しないよう徹底

周辺の農作共同体と協力して、雨水管の再構築と排水を実現

- 近隣の農地またはソーラーファームへの影響を最低限に抑え、天候に対するレジリエンスを大きく改善

Strideの従業員、地域社会、現地の学校や大学に対してトレーニングや認識向上の取り組みを行い、交通安全と交通事故の防止を大きく改善

アジア太平洋地域における太陽光電力への移行を加速化



機会

蓄電ソリューションに加えて太陽エネルギーや風力エネルギーなどの陸上再生可能エネルギーは、最も費用効率の高い新電力のひとつであり¹、アジア太平洋地域の国々による脱炭素化の取り組みにおいて、重要な役割を果たしています

行動

アジア太平洋地域での陸上再生可能エネルギーに対する需要の高まりを受けて、Green Investment Group (GIG)は、再生可能エネルギーおよび貯蓄資産の開発・融資・所有・運営を行う、汎アジア再生可能エネルギー企業 Blueleaf Energyを買収しました

Blueleaf Energyは、地域に根差した豊富な専門知識と開発能力を駆使して、地域市場の発展に貢献しています

成果

500MW超の太陽光発電容量²を、アジア太平洋地域で開発・建設・運用

7GW以上の太陽光発電、風力発電、蓄電プロジェクトがアジア太平洋地域で進行中

台湾、日本、インド、フィリピン、ベトナム、マレーシア、およびインドネシア、その他の東南アジア市場に重点を置いて事業活動を展開

Blueleafは2021年、Vibrant Energyの株式の過半数を買収し、設置済み発電能力で世界第5位の規模を誇る³インド太陽光発電市場への初参入を実現。Vibrantは現在、132MWの太陽光発電を運用しており、インド全域で発電容量985MWを超えるプロジェクトの立ち上げを検討中

2021年、Blueleaf Energyは、日本で大規模な太陽光発電プラントを開発するジョイントベンチャーHinode Energyを立ち上げ、SunAsiaと提携してフィリピンで1.25GWの太陽光発電プロジェクトを開発

1. IRENA (2020)、『2019年版再生可能エネルギー発電コスト』(日本経済新聞出版社)2. Blueleaf Energyの能力は、旧社名Conergy Asia & Middle East名義での数字を含む。3. <https://www.irena.org/Statistics/View-Data-by-Topic/Capacity-and-Generation/Country-Rankings> Blueleaf Energyはグリーン・インベストメント・グループの投資先企業で、独立して運営されている。別途記載がない限り、情報は2022年9月30日時点のものです。



マッコーリーの能力や実績については、以下のサイトをご覧ください。

macquarie.com/discover

Macquarie Bank Limited ABN 46 008 583 542 AFSLおよびAustralian Credit Licence 237502 (MBL)を除き、上記のマッコーリーのグループ各社は1959年銀行法 (Banking Act 1959 (Cth))において認可された預金受入機関ではありません。グループ各社における債務は、MBLの預金またはその他の債務に基づくものではありません。別途記載のない限り、MBLはグループ各社の債務に関して保証または確約をしておりません。

本情報はマッコーリーグループの概要に過ぎません。お客様が記載されている情報に基づき行動する場合、ご自身の目的、財務状況および必要性において、その適切性を検討し助言を求めることをお勧めします。上記の情報は、証券やその他の金融商品、与信商品もしくは融資商品の売買、もしくは投資活動への参加についての助言、広告、招待、確認、提案もしくは勧誘、あるいは銀行サービス、金融サービスについての提案ではありません。この資料に含まれる、もしくは述べられている商品やサービスがお客様にとって適切なものであるとは限らず、また、法域によっては入手不能なものもあります。すべての証券および金融商品または商品取引にはリスクが伴います。記載されている商品の過去のパフォーマンスは、今後のパフォーマンスを確約するわけではありません。

全ての数字は2022年9月30日現在の為替レートを使って換算されています。別途記載がない限り、すべての情報は2022年9月30日時点のものです。

マッコーリーグループ各社の設立および規制状態に関する重要な開示および情報についてはwww.macquarie.com/disclosuresをご覧ください。

© Macquarie Group Limited